

平成29年度 薬物乱用防止高校生会議報告書

平成30年3月

 東京都福祉保健局

は し が き

東京都では、心身を蝕み、若者の輝く未来を奪い去ってしまう薬物乱用を防止するため、高校生が、薬物乱用を身近な問題としてとらえ、主体的に学習・行動する「薬物乱用防止高校生会議」を平成11年度から実施しています。

この会議は、高校生が薬物の危険性（恐ろしさ）を理解し、その誘惑を断る勇気を持つとともに、学習した内容を広く同世代の仲間へ発信していくことを目的としています。

平成29年度は、東京都立石神井高等学校、東京都立井草高等学校の2校から計24名の生徒が参加しました。

生徒は、最初に学習したい内容を話し合い、今年度は「薬物事犯の裁判」「薬物捜索犬の訓練」などの校外学習、「薬物依存症の治療」「元薬物乱用者の経験談」「薬物の誘惑への対処方法」などの講演を選び、学習しました。

学習した内容を「高校生による違法薬物への断り方～私は大丈夫って思っていますか？～」と題した劇にして、平成29年11月26日、都民を対象に都民ホールで開催した「平成29年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会」において発表しました。両校の生徒たちは会議を重ね、違法薬物を勧めてくる相手として「友人、恋人、先輩」の3シーンを設定し、高校生の日常生活を基に現実味のある構成を考えました。台本の作成から小道具、音響、映写スライドも全て自分たちで作り上げ、同世代に向けて薬物乱用防止の強いメッセージを発信しました。

発表を御覧になった方々からは、「とても素晴らしい発表だった」「ぜひ多くの高校で学んでほしい」「高校生の気持ちが分かり大変参考になった」等、賞賛の声数多くいただきました。

生徒は学習内容を広く情報発信するために、薬物乱用防止啓発用リーフレットの作成にも取り組みました。薬物乱用が高校生の身近な問題であることや誘惑に負けない対処方法等をわかりやすく説明し、「薬物の恐ろしさを知ってもらい、薬物乱用を防ぎたい」という生徒の熱い思いが込められたものとなりました。リーフレットは、同世代に向けた薬物乱用防止メッセージとして、都内の高校に通う1年生の生徒に配布します。是非、学校や御家庭で御活用ください。

今年度の「薬物乱用防止高校生会議」の取組をまとめた報告書の発行に当たり、生徒のひたむきな活動を改めて讃えるとともに、今後も薬物乱用防止啓発活動の担い手として、より一層活躍されることを期待します。

終わりに、「薬物乱用防止高校生会議」の実施に際し、御指導、御協力をいただいた東京都立石神井高等学校、東京都立井草高等学校の先生方、教育庁指導部、警視庁ほか関係者の方々に、深く感謝申し上げます。

平成30年3月

東京都福祉保健局健康安全部長
高橋博則

目 次

1	実施概要	1
2	実施内容	5
3	成果発表 東京都立石神井高等学校 東京都立井草高等学校	13
4	成果物（リーフレット）	39
5	会議に参加して 東京都立石神井高等学校 東京都立井草高等学校	45 50
6	参考（事前・事後アンケート集計結果）	57

1 实 施 概 要

実施概要

「平成29年度薬物乱用防止高校生会議実施要領」に基づき、下記のとおり実施しました。

1 参加高校

平成29年度は、下記2校の都立高校の協力を得て実施しました。

○東京都立石神井高等学校

○東京都立井草高等学校

※2校の選出に当たっては、教育庁指導部から推薦を受けました。

2 実施内容

	実施時期	内 容
第1回	7月12日(水曜日)	<ul style="list-style-type: none"> 参加者自己紹介 薬物乱用防止高校生会議概要説明 講義「薬物乱用について」 (講師：東京都福祉保健局健康安全部薬務課職員) 講義「薬物事犯取締状況」 (講師：東京都福祉保健局健康安全部薬務課職員) 第2回会議における校外学習先等の希望調査
第2回	8月31日(木曜日)	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習 警視庁警察犬訓練所(薬物捜索犬訓練見学) 東京地方裁判所(薬物事犯公判傍聴)
第3回	9月27日(水曜日)	<ul style="list-style-type: none"> 参加生徒によるディスカッション 薬物乱用防止について 活動成果発表について
第4回	10月25日(水曜日)	<ul style="list-style-type: none"> 講義「薬物依存症の治療及び回復支援について」 (講師：アパクリニク院長 肥田 明日香 氏) 講話「日本ダルク職員による薬物乱用経験談」 活動成果発表の検討
第5回	11月6日(月曜日)	<ul style="list-style-type: none"> 講義「薬物の誘惑への対処方法」 (講師：精神保健福祉士 中村 聡太郎 氏) 成果物のスケジュール説明
成果発表	11月26日(日曜日)	<ul style="list-style-type: none"> 麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会での活動成果発表 場所：都民ホール(新宿区西新宿二丁目8番1号)
第6回	1月18日(木曜日)	<ul style="list-style-type: none"> 成果物(リーフレット、報告書)の内容検討

3 平成29年度薬物乱用防止高校生会議参加者名簿

東京都立石神井高等学校			
学年等	氏名	学年等	氏名
指導教員	青野 弘一	1年	梅林 美空
指導教員	岡本 裕治	1年	小澤 愛夏
2年	藤原 涼	1年	葛野 直央
2年	宮本 香琳	1年	長谷 侑杜
1年	泉川 航	1年	三枝 俊平
1年	魚谷 拓海	1年	宮下 かつき

都立井草高等学校			
学年等	氏名	学年等	氏名
指導教員	木原 駿	2年	山本 真臣
2年	新井 廉生	2年	渡部 花梨
2年	今村 瑠花	1年	齋藤 若菜
2年	海老澤 優生	1年	佐藤 李帆
2年	奥澤 真子	1年	須永 ひより
2年	木村 未来	1年	田邊 ほのか
2年	駒嶺 純大	1年	平井 花菜
2年	山本 奈央		

平成29年度 薬物乱用防止高校生会議 実施要領

1 目的

- (1) 高校生自らが薬物乱用を身近な問題としてとらえ、薬物の害悪性を理解するとともに薬物の誘惑を排除できる能力を習得する機会を設ける。
- (2) 参加高校生が学習した内容を広く同世代の仲間に発信していくことによって、より効果的な啓発活動を展開する。
- (3) 学校現場における薬物乱用防止に関する指導手法の構築を図る。

2 参加高校

- (1) 東京都立石神井高等学校
- (2) 東京都立井草高等学校

3 実施方法

会議の具体的な実施方法については、各校の教員、教育庁指導部指導企画課指導主事及び福祉保健局健康安全部業務課で協議し決定する。

事業全般を通じた指導は、参加高校の教員が行い、業務課は、必要に応じて資料の提供、講師による講演会及び施設見学の手配等を行う。

4 会議の内容

(1) 生徒の募集

参加高校から意欲的な生徒20人程度を募集する。

(2) 会議のスケジュール

年6回程度開催する。

ア 第1回

(場所) 参加高校会議室・放課後の教室等

(内容)

- ・参加者の顔合わせと自己紹介、スケジュール説明
- ・薬物に関する基礎知識の講義
- ・活動、課題設定

イ 第2回

(場所) 各関連施設

(内容)

- ・薬物乱用防止対策の現状認識を深める体験学習等
- ・施設見学
- ・講義聴講

ウ 第3回

(場所) 参加高校会議室・放課後の教室等

(内容)

- ・講義聴講
- ・学習した内容から同世代に向けたメッセージの検討
- ・成果の発表方法の検討及び準備

エ 第4回

(場所)参加高校の会議室・放課後の教室等

(内容)

- ・成果の発表の取りまとめ

オ 第5回

(場所)参加高校の会議室・放課後の教室等

(内容)

- ・成果発表の最終調整
- ・リーフレット検討

カ 第6回

(場所)参加高校の会議室・放課後の教室等

(内容)

- ・リーフレットの最終稿確認

なお、進行状況により、会議を追加して実施することができる。

また、「麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会」等での発表の機会を設ける。

5 成果物の活用

- (1) 学習した内容を同世代に発信していくためのリーフレット等を作成し、都内の高等学校に通う第1学年の全生徒に配布する。

なお、作成されたリーフレット等の著作物著作権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む。）は、東京都に帰属する。

- (2) 著作権が東京都に帰属することにより、リーフレット等記載の著作者人格権を行使しない。
- (3) 本高校生会議で作成されたリーフレット等は、都の事業等（薬物乱用防止啓発活動）にも活用する。
- (4) リーフレット等について、他の自治体や薬物乱用防止活動を行う団体等から利用申し込みがあった場合、都の判断により利用を許可する。
- (5) 本事業の取組や活動状況の写真について福祉保健局のホームページに掲載する等し、広く都民に対し効果的に発信する。

6 事務局

教育庁指導部指導企画課

楠 本 祐 也

福祉保健局健康安全部

薬務課麻薬対策担当

山 本 和 輝

河 西 圭 子

2 实 施 内 容

薬物乱用防止高校生会議 事前連絡会

日時：平成29年6月12日（月曜日）午後4時～

場所：都立井草高等学校 ※生徒参加なし

- 1 参加各校・事務局紹介
- 2 事務局からの事業説明
- 3 会議スケジュール及び事業内容の検討
- 4 成果の活用
- 5 参加生徒の推薦について
- 6 「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集いの御案内

第1回 薬物乱用防止高校生会議

日時：平成29年7月12日（水曜日）午後4時～

場所：都立石神井高等学校

- 1 開催（挨拶）
 - ① 参加者自己紹介
 - ② 薬物乱用防止高校生会議の概要について
 - ③ 活動内容（成果発表、リーフレット・報告書）について
- 2 講演「薬物乱用について」 講師：河西 圭子（薬務課麻薬対策担当）
- 3 講演「薬物事犯取締状況」 講師：山本 和輝（薬務課麻薬対策担当）
- 4 今後の進め方について
 - ① 第2回会議における校外学習先等の希望調査
 - ② 成果発表に向けたスケジュール説明
 - ③ その他（質問事項・連絡関係）



第2回 薬物乱用防止高校生会議

日時：平成29年8月31日（木曜日）午前10時～午後4時

場所：警視庁警察犬第一訓練所・東京地方裁判所

- 1 警視庁警察犬第一訓練所見学
 - ① 訓練所施設見学
 - ② 警察犬（薬物捜索犬）の説明
 - ③ 警察犬（薬物捜索犬）の訓練見学
 - ④ 質疑応答
- 2 東京地方裁判所公判傍聴（覚せい剤取締法違反被告事件など）



第3回 薬物乱用防止高校生会議

日時：平成29年9月27日（水曜日）午後4時～

場所：都立井草高等学校

1 開催

質疑応答

部外講師について

2 参加生徒によるディスカッション

① 薬物乱用防止について

② 都民大会活動成果発表について

3 連絡

今後のスケジュール等



第4回 薬物乱用防止高校生会議

日時：平成29年10月25日（水曜日）午後4時～

場所：都立石神井高等学校

1 講演「薬物依存症の治療及び回復支援について～医師の立場と体験談～」

講師：肥田 明日香 氏（アパリクリニック院長）

- ① 薬物依存症の特徴
- ② 薬物を使うようになった要因
- ③ 薬物依存症の治療と回復支援施設

2 講話「日本ダルク職員による薬物乱用経験談」

- ① 薬物を使うようになった経緯について
- ② 薬物依存症が引き起こす妄想や幻覚などの症状の恐ろしさ
- ③ 薬物依存症との日々の戦いについて

3 都民大会活動成果発表について

- ① 大会の説明
- ② 発表内容の確認
- ③ 不適切な表現、映像の確認



第5回 薬物乱用防止高校生会議

日時：平成29年11月6日（月曜日）16時～

場所：都立井草高等学校

- 1 講演「薬物の誘惑への対処方法」
講師：中村 聡太郎 氏（精神保健福祉士）
 - ① 薬物使用を始めるきっかけや状況
 - ② 薬物を誘われた時の心理と対処方法
 - ③ 薬物使用による社会生活や人間関係等の環境変化
- 2 都民大会活動成果発表について
 - ① リハーサル
 - ② 上映スライド確認
- 3 高校生会議リーフレットについて

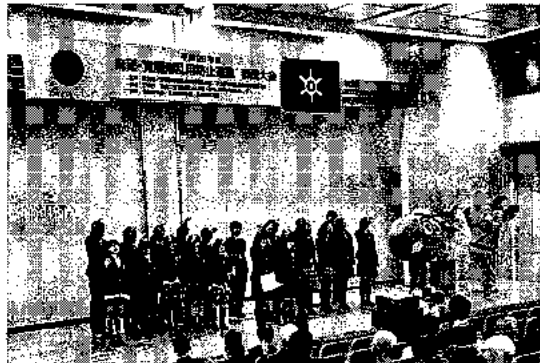
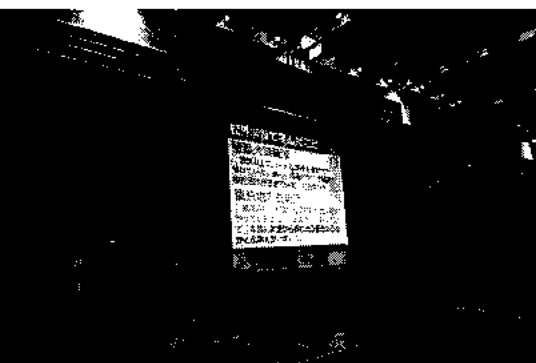
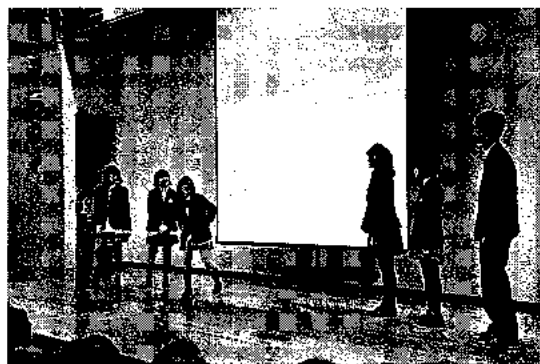
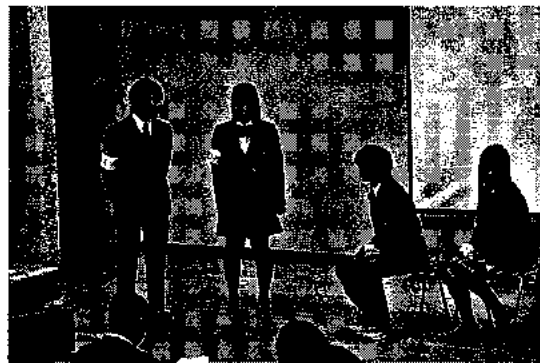
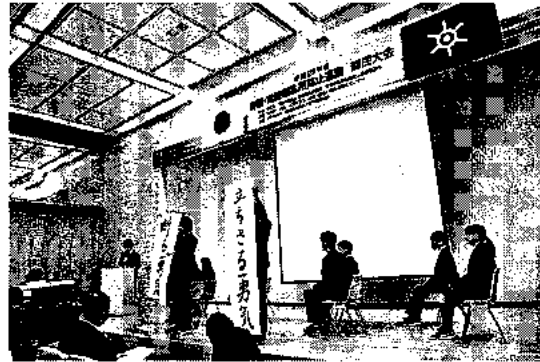
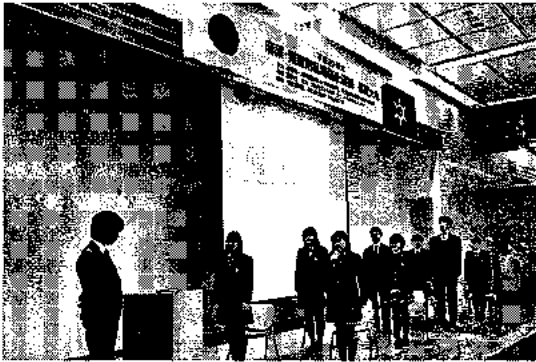


平成29年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会（活動成果発表）

日時：平成29年11月26日（日曜日）午前9時30分～午後4時

場所：都民ホール（新宿区西新宿二丁目8番1号）

- 1 立ち位置確認・リハーサル
- 2 活動成果発表
- 3 大会宣言

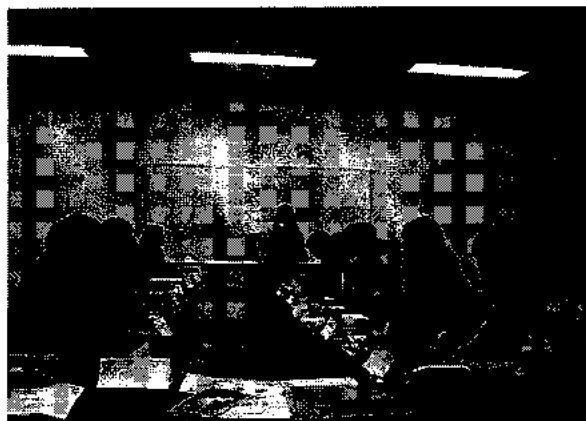


第6回 薬物乱用防止高校生会議

日時：平成30年1月18日（木曜日）午後4時～

場所：都立足立西高等学校

- 1 リーフレット・報告書の作成について
 - ① リーフレット作成
 - ② スケジュールの説明
 - ③ リーフレット内容の検討役割分担の検討
- 2 参加生徒による感想発表
今年度の高校生会議を終えて



※全6回の高校生会議とは別に、活動成果発表のため、臨時の活動を実施しました。

活動成果発表事前準備のため

11月15日（水曜日）午後4時から・・・都立井草高等学校にて開催

11月16日（木曜日）午後4時から・・・都立井草高等学校にて開催

3 成 果 発 表

薬物乱用防止高校生会議成果発表

平成29年11月26日(日曜日)、都民ホールにおいて開催された「平成29年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会」におきまして活動成果発表を行いました。

今年度は、都立石神井高等学校、都立井草高等学校の両校合同による「高校生による違法薬物の断り方～私は大丈夫って思っていないませんか～」と題した演劇を発表しました。

生徒達で考案した「断る勇気！立ち去る勇気！」をテーマに、台本の作成から小道具、音響、映写スライドまで両校の生徒自身で作りました。

当日は、違法薬物を誘ってくる対象として「友人、恋人、先輩」の3シーンを設定し、高校生の日常生活を基に現実味のある構成で、高校生自らの言葉により違法薬物の断り方を演じ、同世代に向けて薬物乱用防止の強いメッセージを発信しました。

以下、活動成果発表を掲載いたします。



東京都立石神井高等学校
東京都立井草高等学校
活動成果発表資料
(演劇台本)

**平成29年度
薬物乱用防止高校生会議**

**都立石神井高等学校
都立井草高等学校**

高校生による違法薬物の断り方
～私は大丈夫って思っていないませんか～

「授業」

(チャイム音)

委員A：起立、気を付け、礼！

全生徒：お願いします！

委員A：着席！

先生：今日は違法薬物についてみんなの理解を深めてもらいたいと思う。

(生徒ざわつく)

委員A：先生！

先生：お？なんだ？

委員A：質問です。

なんでまた薬物についての授業を受けなければいけないんですか？
私たちは小学校のころから耳にタコができるくらい薬物についての話を聞いています。
今さら新たに教えてもらう必要はないと思います。

先生：あのなあ…

委員B：先生！

私も同意見です。
違法薬物やっても立ち直っている人だっていますし、あんまり深く考えなくても大丈夫だと思います。

生徒B：しかも、僕の周りに薬物やっていそうなやつもやりそうなやつもないし！

生徒C：それに、俺は、誘われても「キッパリ」断る自信あるぜ！

先生：分かった分かった！

たしかに何度も言われているかもしれないが、君たちの年代が1番狙われやすいんだ！
飲み物に混ぜられていることもあるんだよ。
知らないうちに飲まされていたり、無理矢理飲まされることもあるからね。

生徒D：え、こわ。そんな知らないうちにとかあるんですか？

生徒E：そういう人とは関わらないようにしようよ…。

先生：薬物についてまだ知らないこともあるみたいだね。

じゃあ、最初に薬物の種類とそれを使ったらおこる害についてのビデオを見てみよう。

スライド (ナレーター読み上げ)

ナレーター：薬物乱用とは？

みんな知っていますか？

薬物乱用とは、違法な薬物を使うこと、医薬品を治療目的以外で使用する
ことです。

一回の使用で『乱用』となります。

薬物乱用とは？

知ってる??

- 違法な薬物を使うこと
- 医薬品を治療目的以外で
使用すること

1回 の使用で**乱用** となります。

ナレーター：薬物を乱用すると、自分自身の心身に害悪があるばかりではなく

・家庭、人間関係が崩壊してしまうことがある。

・殺人、傷害、窃盗など他の罪を犯してしまうことがある。

など、自分以外の人にも迷惑がかかってしまいます。

薬物乱用とは？

薬物を乱用すると…

- 家庭、人間関係が
崩壊してしまう
- 殺人、傷害、窃盗など、
他の罪を犯してしまう

ナレーター：特に覚醒剤は、約65.1%と再犯率が高く、その理由は、覚醒剤には、強い依存性があるからです。

次に違法薬物の種類と服用したら起こる害について説明します。

薬物乱用とは？

覚醒剤の再犯率

約65.1%

(平成28年警察庁統計)

再犯者が高い理由

覚醒剤には**強い依存性**がある

ナレーター：大麻

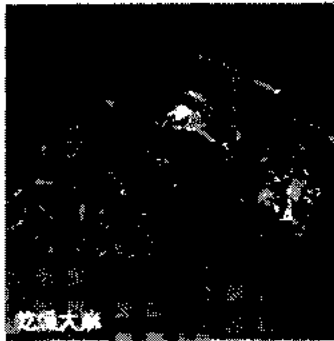
俗称「ハッパ、マリファナ、チョコなど」

脳に様々な不具合を生じさせ、記憶や学習能力が低下し、社会生活に適応できなくなることもある。

違法薬物の種類

大麻

[俗称] ハッパ、マリファナ、グラス、チョコ、
ガンジャ、ハシッシュ、野菜、ヘンプ など



大麻

- 酩酊感や情緒不安定など
脳に様々な不具合を
生じさせる。
- 記憶や学習能力が低下し、
社会生活に適応できなく
なることもある。

出典：麻薬取締官ウェブサイト
(<http://www.nos.mtak.go.jp/>)

ナレーター：覚醒剤

俗称「スピード、シャブ、アイス、エス、やせ薬など」
依存性が強く、幻覚や妄想が現れることがある。

違法薬物の種類

覚醒剤 [俗称] スピード、シャブ、アイス、エス、やせ薬
など



覚せい剤

出典：麻薬取締官ウェブサイト
(<http://www.nod.renri.go.jp/>)

- 神経を興奮させ、
眠気や疲労感がなくなり、
頭が冴えたような感じに
なる。
- 効果が切れると、激しい
脱力感、疲労感、倦怠感
に襲われる。
- 依存性が強く、
幻覚や妄想が現れる事が
ある。

ナレーター：コカイン

俗称「コーク、ホワイト、チャーリーなど」
強い依存性があり、死に至ることもある。

違法薬物の種類

コカイン [俗称] コーク、プロウ、ホワイト、
クラック、チャーリー、スノウ など



コカイン

出典：麻薬取締官ウェブサイト
(<http://www.nod.renri.go.jp/>)

- 強い依存性があり、

死に至る場合が

ある。

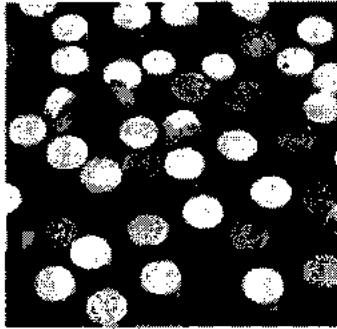
ナレーター：MDMA

俗称「エクスタシー、パツなど」

強い精神依存性があり、様々な障害を引き起こす。

違法薬物の種類

MDMA [俗称] エクスタシー、パツ など



- **強い精神依存性があり、様々な障害を引き起こす。**

出典：真実取材ウェブサイト
(<http://www.noo.mtsu.go.jp>)

ナレーター：ヘロイン

俗称「スマック、チャイナホワイト、ジャンクなど」

精神依存、身体依存が生じやすく、その依存性が極めて強い。

違法薬物の種類

ヘロイン [俗称] スマック、チャイナホワイト、ジャンクなど



- **精神依存、身体依存が生じやすく、その依存性が極めて強い。**

出典：真実取材ウェブサイト
(<http://www.noo.mtsu.go.jp>)

ナレーター：危険ドラッグ

「合法ドラッグ」「脱法ドラッグ」と呼ばれ、ハーブ、お香、アロマオイルなどに見せかけているが、覚醒剤や大麻と同じような成分が含まれている。

違法薬物の種類

危険ドラッグ



参考：厚生労働省ウェブサイト
(<http://www.soc.mhlw.go.jp>)

- 「合法ドラッグ」「脱法ドラッグ」と呼ばれ、ハーブ、お香、アロマオイル、バスソルトなどに見せかけているが、覚醒剤や大麻と同じような成分が含まれている。
- 覚醒剤や大麻より危険な場合もある。

スライド終了

生徒F：えー！今まで習ったことのない名前とか出てきていたよ！
キャンディーみたいな薬やオシャレなパッケージもあるんだ！

学生A：痩せ薬とかアロマオイルとか自分が親しみを感じていた名前でも安心してちゃいけないんですね。

学生B：1回で乱用になるんですね！

先生：そうだな。

色々な種類や呼び方があって驚いたと思うんだけど、絶対に得体の知れないものは受け取っちゃだめなんだ。

さらに、みんなに知ってもらいたいのは、薬物の恐ろしさなんだ。
続きのビデオを見てみよう。

スライド (ナレーター読み上げ)

ナレーター：違法薬物の事件事例。

元プロ野球選手を覚醒剤取締法違反で逮捕。

「間違いありません」と供述。

このように有名人も薬物に手を染めてしまっているのです。

違法薬物の事件事例

元プロ野球選手を逮捕

- 自宅マンションで覚醒剤約0.1gを所持
- 覚せい剤取締法違反で現行犯逮捕
- その後、使用についても再逮捕
- 「間違いありません」

有名人も薬物に手を染めてしまう

ナレーター：高校一年生女子生徒が覚醒剤を所持。

「独りで使用するために持っていた」と供述。

男子高校生7人が大麻を所持。

「集団で大麻を使用していた」と供述。

このように高校生の違法薬物事件も連日報道されています。

違法薬物の事件事例

高校一年生女子生徒が覚醒剤を所持

- 覚醒剤3gと注射器13本を所持
- 覚せい剤取締法違反で現行犯逮捕
- 「独りで使用するために持っていた」

男子高校生7人が大麻を所持

- 大麻約8.9グラムを持ち回りで保管
- 大麻取締法違反で男子高校生7人を書類送検
- 「集団で大麻を使用していた」

ナレーター：毎年、多くの中高生が違法薬物事犯で検挙されているのです。

違法薬物の検挙数

多くの中高生が検挙されている

		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
20歳未満	覚醒剤	124	92	119	136
	大麻	59	80	144	210
大学生	覚醒剤	22	11	18	8
	大麻	23	27	31	31
高校生	覚醒剤	15	11	14	18
	大麻	10	18	24	32
中学生	覚醒剤	1	2	1	7
	大麻	0	3	3	3

(警察庁統計による)

ナレーター：違法薬物には、誰もが簡単に溺れてしまう可能性があります。
一度使うと立ち直るのが、とても困難で、大変有害なものなのです。

違法薬物には、

誰もが簡単に溺れてしまう
可能性があります。

一度使うと立ち直るのが
とても困難で、
大変有害なものなのです。

スライド終了

生徒A：有名人の事件は聞いたことあったけど、中学生や高校生もあんなに検挙されているんだ～！

生徒B：恐ろしい！
僕より年下の子とかもやっているし！気をつけなきゃ…。

生徒C：まあ、俺なら断るし？

生徒D：いや、絶対にこうはなりたくないな。

先生：そうだよな。たった1回だけでもやめられなくなってしまう薬物、だから絶対に使ってはいけないんだよ。
そして今、「断る」って言っていたけれど、みんながもし誘われたらどうする？

生徒C：怒る！

生徒E：相手を更生させる！

生徒F：その人との関係を断つ！

生徒D：それはあんまりだよ！

先生：関係を断つか、良い線いっているな。

全生徒：ええー！！

先生：薬物乱用者は、親しい人にも薬物を勧めたりするんだよ。
よし。じゃあ、断り方を教えよう。
怪しくて危なそうなものを使わないか？と言われたらキッパリと断って、その場から離れるんだ。
1番大事なものは「断る勇気」と「立ち去る勇気」を持つことなんだ。

生徒E：そうなんですね！
でも、なんか、こんな恐ろしい話を聞いても現実味がしないね。

生徒D：うんうん、自分にはこんなこと起きないだろうって思っちゃうよね。

先生：そうだな。
1番誘われやすいのは「自分は誘われない」って思い込んでいる人とか精神的に弱っている時なんだ。
じゃあ、これから2つの劇を見せるから、学んだことを記録用紙に書いて今日の授業は終わりにしよう。
学級委員の2人には意見を聞くからそのつもりでな。

委員AB：はい！

先生：まずは、友達から誘われた場合を見てもらおう。みんな準備して。

場面転換（暗転）

「友人編」

B : はあ。最近成績が下がる一方で家にいるのが嫌なんだよねえ…。

A : そうだったの？全然知らなかった。

B : まあクラスも別れちゃったし、塾とかで会う機会もあんまりなかったからね。でもさ、ひーちゃんは成績上がっているって塾の先生、言っていたよ！

A : そうなの！ある魔法の菓を使い始めたら成績が上がるようになって！
かっちゃんにも教えてあげる。
じゃじゃ〜んっ！！頭がよくなる菓〜！

B : な、何それ？

A : その名の通り、これ飲むと頭が良くなるの！だから、やめられなくて…（照）

B : それ、何入ってるの？

A : なんだろう、知らない。

B : いや、そんな危ないもの飲んじゃだめだよ！

A : いや、わたし生きているし。危なくないでしょ？

B : いや、まあ、そうなんだけど…なんか、ね…。

A : 成績上がるんだし、一緒に飲んで受験に勝とうよ！

B : そ、そう言われるとさ…いやでも…。

（効果音、電話の着信音）

A : あ！ごめん！電話きちゃった！
ちょっと出てくるから、それ見て待ってて！

（Aは舞台から退出）

B : あ、うん…。

（天使と悪魔登場）

天使：ねえ、ちょっと！どうしてすぐに断るか逃げるかしなかったの？
こんな、何が入っているか分からない菓なんて絶対、危険ドラッグなどの違法な
薬物に決まっているじゃない！！

悪魔：まあまあ、そんなカッカするなって！じゃないと、またシワが増えるよ〜？？

天使：うるさい！

悪魔：お一こわ。これがあの天使様だとは到底思えないね！

B：て、天使？！

天使：…本当に意地が悪いのね、悪魔さんは。

B：あ、悪魔？！

悪魔：まあね、これが悪魔の性分ってもんさ！
それより、これどうするんだ？
俺的にはあの幼馴染ちゃんが飲んでいるって言っているんだし、信用して1回
くらい飲んでみても良いと思うぜ？

B：ちょ、その前に人の話を…。

天使：はあ？何言ってるの！！いい？？
あなたの人生は一度きりなの。
だからその一度きりの人生をたった1回の好奇心でめちゃくちゃにして欲しく
ないのよ、私は。

B：だからさ！

悪魔：めちゃくちゃだなんて大げさだな。
1回くらい失敗したって、その後の行い次第でどうにだってなるさ！
たまには羽目を外してもいいだろ？

天使：その一回で今後の人生が茨の道になるかもしれないって言うてるの！

悪魔：それはこいつが選んだ道だ！悪魔様には知ったこっちゃないな。

天使：はあ…。

B：あ、あの…。

天使：もう！ちょっと！

B：は、はいっ！！

天使：今から私の言うことをよく聞くのですよ。良いですか？
最後の忠告をします。
さっき彼女からもらった薬を決して飲んではいけませんよ。
もしそれが違法な薬物だとすれば、1回ではやめられなくなります。
ここは我慢どころなのです。
この薬を飲むか飲まないかであなたの未来は、大きく左右されることでしょう。
この話を信じるか信じないかはあなた次第ですが、私は天使なので、あなたに
とって良いことを言っているはずですよ。
それでは、あなたにより良い未来が訪れることをお祈りいたしております。

悪魔：あーあ。行っちゃったよ。
せつかくからかいがいのあるやつに久しぶりに会えたのにな。
おいお前、どうするんだ？

B：え？

悪魔：その薬を飲むか飲まないかって聞いているんだよ？！

B：ああ、どうしよう…。

悪魔：なんだ、まだ決めてないのかよ。
もし、それが違法な薬物だったら確かにやばいけどさ。
あいつも飲んでるっていうし、勉強しなくても成績が上がるんだぜ？
こんな美味しい話ないと思うけど。
ま、俺もこのくらいにして帰るわ。バイビー。

B：は、はあ…。(悪魔の方を見る)

(Aが戻ってくる)

A：お待たせ！

B：…はあ！（ため息）

A：お、おーい？

B：わっ！！ごめん、気づかなかった。

A：いつ気付くかなって思っていたよ。
それで、どう？飲む気になった？

B：い、1回だけ…飲んでみようかな。

A：おおお！さすが、我が心の友よ！愛してる～！！

B：わかったわかった。

A：じゃあ、はい！

B：え？今？

A：もちろん！

B：わかったから、そんなキラキラした目で見ないで！…本当に1回だけだからね？

A：いいからいいから！

B：ふう、よしっ！

(ストップモーション)
効果音 (失敗音)

委員A : あー、断れなかったね…。

委員B : 仲のいい友達からの誘いって断りにくいよね…。

先生 : そうだね。じゃあ、こうならないためにどう断ればよかったのかな？
見てみよう！

(巻き戻して断る場面から再スタート)

A : おーい？

B : わっ！ごめん！気付かなかった。…なんだっけ？

A : だからこれ、頭のよくなる薬！
私も飲んでいて本当に頭が良くなるから！
飲んでみなよ！

B : …どこから手に入れたの？

A : え、えっと…いや…。

B : ごめん！そういうよくわかんないやつ、受け取れないし、使う気もない！

A : で、でもさ！

B : ひーちゃんのごときは好きだけど、こういうの強要するんだったらもう会わない。

A : …かっちゃん、ごめん。もう帰って。誘わないから。

B : 分かった。…私は薬なんかに頼らないで実力で受験に勝つよ！
一緒に頑張ろうね！じゃあ…。

効果音 (成功音)

委員A : 断れたみたいね。

委員B : 友達との関係に亀裂が入っちゃったみたいだけど。

先生 : みんなも誘われたらキッパリと断ってその場を離れるんだ。
このことを念頭に置いて、次の劇も見てみよう！

場面転換（暗転）

「恋人編」

（彼女が座っていて、彼氏が2つ飲み物を持ってくる）

彼 氏：はい！

彼 女：あ、ありがと…。

彼 氏：（座って）眠そうだね？なんかあった？

彼 女：まあ、ね…最近友達とあんまり上手く行ってなくて眠れないんだよね。

彼 氏：そ、そうなの？大丈夫？
いじめられていたりとか…。

彼 女：ああ！ごめん、そういうのじゃないの。
ただ、冷たくされたり、一言一言がトゲトゲしかったりしているだけで…。
でも前はそんなことなかったから、なんかあったのかなってちょっと寂しく
なっちゃって…。

彼 氏：さっちゃん。

彼 女：あ！でも、今はたっくんが居てくれるから、全然大丈夫だよ！…
ただ、話したくなっただけ。
だから、あんまり気にしないで！

彼 氏：わかった、だけど無理はすんなよ？
そういえばこれ、眠れない時によく俺が使っているやつなんだけど、あげるよ。

彼 女：…ん？なにこれ？

彼 氏：分かる？

彼 女：…落ち葉？

彼 氏：違う違う！本当に見たことない？
これは、「大麻」だよ。

彼 女：え！？た、大麻！？

彼 氏：なにそんなに驚いているの？
これ…こうやって…ぶはー。吸うと気持ちよく寝られるんだよ。
ほら！使ってみて？

彼 女：え、ちょなにやってんの！？こ、これ違法でしょ！？

彼 氏：ん？まあ、日本ではそうだな。
でも、俺だって吸っているし、そんなに害ないよ。

彼 女：でも！

彼 氏：そんな大きな声出すなよ。
大麻吸うなんて、今時普通だよ？みーんなやってるし！

彼 女：そうなの？

彼 氏：ああ！だからさ、ほら、吸ってみろよ。

彼 女：え、ここで？いやそれは…ごめん。やっぱ無理！

彼 氏：は？俺のいうこと聞けないの？眠れないんだろ？ほら、吸っちまえよ。

彼 女：だってこれ…。

彼 氏：だからこれ、俺だって使っているって言っているだろ？
しかもこれ、タバコじゃないから未成年でも大丈夫だし…。

彼 女：でも違法なんですよ？

彼 氏：まあそうだけど、海外では違法ではないところもあると聞くし、今、誰も見ていないうちに吸えばバレないって！

彼 女：…（無言）

彼 氏：眠れないって言っていたのはお前だろ？
俺はさっちゃんのことを考えて勧めているんだよ？

彼 女：え！？

彼 氏：眠れるようになったらやめればいいし！

彼 女：それ、止めようと思ったら止められるの？

彼 氏：俺の言うことが信用できないの？

彼 女：違うよ！出来ないとは言っていないじゃん。

彼 氏：じゃあやってみなよ。
俺は本当にお前のことを考えているんだ。
俺は彼女が困っているのに助けない男じゃない。

彼 女：あ、ありがと…止められるんだよね？

彼 氏：お前が止めたいと思えば、な？

彼 女：じ、じゃあ…ケホケホ。

(警察官登場)

警察B：こんにちは。はじめから見ていたけれど、今、タバコ吸ってたよね？

彼 氏：げ！警察…。

タバコじゃないですよ？ってか、デート中なのでもういいですか？(手を繋ぐ)

警察A：それは失礼しましたね。

でも、タバコみたいなのを吸っているように見えたので。
僕たちの勘違いだったかな～。

警察B：先輩ちょっと…これタバコの匂いじゃないですね。

彼女さん、後ろに隠しているのはパイプじゃない？

彼 女：えっ…。

警察A：確かにタバコじゃなかったみたいだね。

さあ、彼女が後ろに隠しているものを見せてもらおうか？
それは誰のかな？

彼 女：ご、ごめんなさい！

これ大麻って言われて彼に勧められたんです。
この大麻は彼のもので、私のものじゃないんですけど、私も断れなくて今、一度吸ったんです…。

彼 氏：ちょ、お前？！

警察B：さあ、彼氏くん。

大麻所持の疑いで鑑定をするからパトカーに来てもらえかな？
鑑定結果が出たら逮捕するからね。

彼 氏：くそっ！

警察A：じゃあパトカー行くよ～。

警察B：あなたは私ともう一台のパトカーに乗りましょう。

鑑定結果で大麻の反応が出たら、あなたも大麻の共同所持の疑いで逮捕することになるからね。

彼 女：そ、そんな…。

(ストップモーション)

効果音 (失敗音)

委員A：あー、やっぱりやっちゃったか。

委員B：そっか、強要された彼女の方まで罰せられちゃうんだ！

先生：そうだね。
好きな人から言われたら嫌われたくなくてやっちゃうよね。
でも、大切なのは？

委員A：断る勇気と

委員B：立ち去る勇気を持つこと！

先生：そうだね。じゃあ、断り方を見てみよう！

(巻き戻して断る場面から再スタート)

彼氏：ほら、吸ってみなよ！後悔しないよ？

彼女：あのさ、大麻って違法だよな。
私捕まりたくないし、これからの人生をこれで棒に振りたくない。
だから、受け取れない。

彼氏：は？お前俺が親切に言って…。

彼女：何が親切なの？私はたっくんが好き… だったよ。
でも、彼女に薬物誘うなんて信じられない！
もうこの話は終わり。
別れましょ。さようなら。

彼氏：ちょ、待てよ！

効果音（成功音）

委員A：薬物を使うと親しい人を誘いたくなっちゃうからその人との関係を壊してしま
うんですね。

委員B：それでどんどん孤独になっていく…という訳なんですか？

先生：そうなんだ。
どんどん孤独になって最後には孤立してしまうケースも多々あるんだよ。

委員A：そうなんですかね。
そんな生き方、絶対に嫌だな。

委員B：私も自分の人生を守るために、誘われたら勇気を持って断ろう！

先生：うんうん。みんな薬物の恐ろしさは分かったかな？
絶対に1度でも使ってはいけないんだよ。
じゃあ、授業はここまで。学級委員の2人、ありがとう。

委員AB：はい！

場面転換 (暗転)

「上下編」

- 後輩1：あー、疲れたあー！
薬物についての授業、怖かったね。
- 後輩2：まあ、私たちがそんな場面に出会うことはないだろうね。
- 後輩3：そうかもしれないけど、いつ誰に薬物を誘われるか分からないんだよ？
- 後輩1：まあねえ、あ！
そういえば、今日ってマイ先輩が来るんでしょ？
- 後輩2：そうらしいね！
1年ぶりかあ〜、先輩、どうしているかな？
- 後輩3：それがさ、大学に行ってチャラくなっているって噂だよ。
- 後輩1：えー？あの真面目な生徒会長の先輩が？
あくまでも噂でしょ？
- 後輩2：そうだよ。
でも1年もあったら人って変わってしまうのかな…。
- G：みんなー！ひっさしぶりい〜！！
- 後輩3：ほらあー！
- G：ん？何のこと？
- 後輩1：…あ！先輩！お久しぶりです！
ちょうど今、みんなと先輩のこと話していたんですよ！
- 後輩2：そうそう！そんなことより、先輩の大学生活について聞かせてください！
- G：もちろん！私ね、新生活に不安だらけだったんだけど、大学ですごく
気の合う友達に出会えたの！
- 後輩3：気の合う友達…ですか？
- G：そう！それで、今日その友達を連れてきているから、みんなに紹介するね！
おーい！
- 友人AB：はいはい！
- G：改めましてご紹介しまーす！こちら、大学の友達で一す！
あっ！こっちは私の後輩だよ〜！

友人A：なにになにー？みんなチョー可愛いじゃーん！

友人B：えー！ホントだー！

○ G：でしょ？自慢の後輩たちなんだよね！
それで、今日来た理由がもちろんみんなに会いにきたっていうのもあるんだけど、ついでに渡したいものがあった。

友人A：そうそう！
みんなさ、最近、「頭よくなりたい！」とか、「痩せたい！」っていう願望ないの？

後輩1：もちろんありますよ！勉強しているんですけど成績が伸び悩んでて…。

後輩2：私は特技と呼べるものがなくて…。
何か特技を作って自慢してみたいなあ～。

後輩3：僕だって、クラスで人気者になりたいです。

○ G：そうだよねっ！みんな、何かしらの願望ってあるよね？
じゃあさ、私とその夢を叶えられる魔法の薬、持っていたらどうする？

友人AB：あーあれね。

後輩1：え？でも、そんなものはないって、今日授業で習いましたよ？

後輩2：なにかのインチキとか…？

後輩3：そんな薬ないと思う。

○ G：とにかく！欲しいと思うよね？！

全後輩：え？私たちは、いません！！

○ G：え？いないの？とりあえず見て見て。

全後輩：…（無言）

○ G：これが魔法の薬で一す！

友人AB：イエーイ！

後輩1：私は、やっぱり、おかしいと思う。
みんなはどう思う？

後輩2：私もおかしいと思う。
今日、授業で習ったやつだよ？

○ G：何も心配することないよ。この薬とってもよく効くんだから！

友人A：アロマだよ～！

友人B：未成年でも大丈夫なやつ！

後輩3：…やっぱり、違法薬物だ！！

○ G：ん？違うよ？

さっきから言っているけどこれはアロマだよ。

それより、どうしてそんなこと言うの？

後輩1：今日薬物についての授業で、違法薬物のなかには、アロマとも呼ばれたりするものもあるから、得体のしれないものは受け取らないことって言われました！

後輩3：やっぱり怪しいです。

○ G：後輩なのに先輩の言うことが信用できないってこと？

後輩1：そういうわけじゃないですが、私たちはいりません。

後輩3：そういうよく分かんないやつ、受け取れませんし、使う気もありません！

○ G：でもさ、1回だけだよ？

やってもらいたいのは…。

後輩2：1回でもだめだって習いました！

後輩3：まだ誘うなら、警察呼んで私たちは帰ります。

友人A：それは困るなあ～。

友人B：ねえ、どーする？頭固そうだよ？この後輩。

後輩1：もう、帰ろう！！

後輩4：おまたせ～！って、先輩のお友達ですか？

後輩6：わー！お久しぶりです！！

○ G：お、おお！久しぶりっ！

友人B：あ！この子たちも誘っちゃおーよ！！

友人A：君たちもどう？

友人B：夢の叶う魔法の薬よ～！！

後輩4：…え？

後輩5：こ、これって…。

後輩1：さっきから断っているのに先輩が無理やりすすめてきているんだよ！！
しつこいから、もう、帰ろうと思って。

後輩2：今日授業で習った違法薬物だと思う！

後輩3：先輩、そろそろ私たち帰りますね！

後輩6：先生が、さっきの授業でその場を離れるって言ってたもんね。

後輩5：そうだよね！

後輩6：先輩、私達、捕まりたくないし、これからの人生を薬物で棒にふるたく
ありません。
だから受け取れません。さようなら。

全後輩：行こう！（全員立ち去る）

○ G：え?! ちょっ! まって…。

友人A：ねえ、ほんとにやばくない?

友人B：やっぱり、これくらいにして帰ろーよ!

○ G：…わ、わかった…つくそ！（走って逃げる）

後輩1：…行った?

後輩2：行った行った!

後輩3：うまくいったね!!

効果音（大成功音）

委員A：上手く断れたね!!

委員B：先生の授業のおかげだね!!

先生：それじゃあ、まとめに行こう!

スライド (ナレーター読み上げ)

ナレーター：もし誘われても、いくら親しい人でも得体の知れないものは、絶対に受け取らないでください！

違法薬物を誘われても

いくら親しい人でも
得体の知れないものは
絶対受け取らない！！

ナレーター：私達、石神井高校と井草高校は、今年の4月から、都立高校の代表として薬物乱用高校生会議に参加して、約半年、会議を行い、薬物の知識を深めてきました。8月には校外学習として警察犬訓練所と東京地方裁判所に行ってきました。警察犬訓練所では、警察犬が、厳しい環境でも薬物を確実に嗅ぎ分ける臭気訓練を見学し、薬物捜査の実際の現場を体験できました。また、東京地方裁判所では、覚醒剤取締法違反被告事件を傍聴し、被告人の生々しい供述を聞き、覚醒剤を本当に友達から誘われることがあるのかと衝撃を受けました。

校外学習で学んだこと

警察犬訓練所

想像以上にハードな訓練を警察犬が受けていて、厳しい環境の中でも確実に嗅ぎ分けができていてとても驚きました。

東京地方裁判所

被告人が「友達から誘われて覚醒剤をやってしまった。」と生々しく語っていて、本当に友達から誘われる事があるのかと衝撃を受けました。

ナレーター：また、薬物依存症治療の専門医と精神保健福祉士による講演、実際に薬物を乱用したことがある日本ダルクの職員の経験談も聞きました。
お話を聞く前は、「薬物をやってしまう環境にあるから手をだしてしまう」ものだと思っていましたが、専門医から「一回でも依存性薬物を使用すると、脳が薬物を求める仕組みができて、一生その仕組みができ、薬物を求め続けてしまう」ことであると学びました。
また、精神保健福祉士の先生からは、断る時の基本態度として「あなたが嫌だから断るのではない。私が薬物を使いたくないだけ」という強い気持ちを持って対処することを学びました。
今回、薬物乱用防止高校生会議に参加して、他校の生徒会同士が、校外学習や講演で薬物乱用防止について一緒に学び、話し合いをする貴重な体験ができ、成果発表として、「高校生による違法薬物への断り方～私は大丈夫って思っていないませんか～」と題した劇を作り上げることができました。

講演で学んだこと

アパリクリニック 肥田院長

一回でも薬物を使用すると、脳が薬物を求める仕組みができて、一生その脳が薬物を求め続けてしまう。

精神保健福祉士 中村先生

断る時の基本態度

『あなたが嫌だから断るのではない』

『私が薬物を使いたくないだけ』

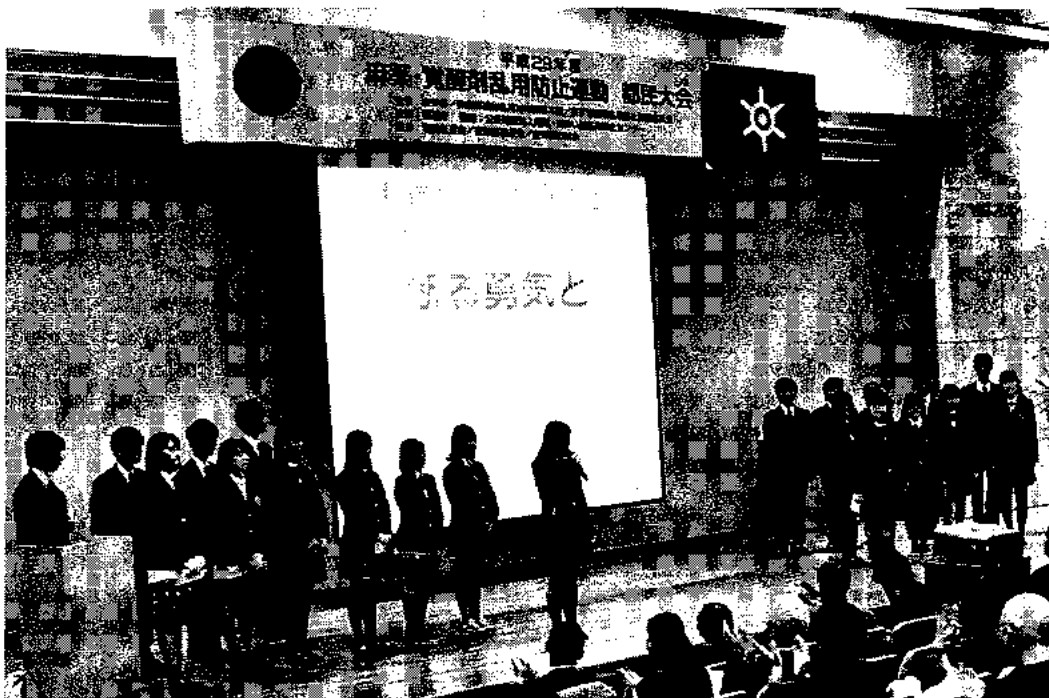
(全員集合して)

ナレーター：私達が、伝えたいことは、断る勇気と立ち去る勇気を持つことです。
薬物の誘惑に決して負けることなく、会議で学んだ薬物乱用の怖さ、断り方を多くの人に伝えて行き、薬物乱用のない社会を築いていきます

私達が伝えたいこと

**断る勇気と
立ち去る勇気を！**

ナレーター：以上で都立井草高等学校と都立石神井高等学校の成果発表を終わります。
ありがとうございました。



(完)

4 成果物（リーフレット）

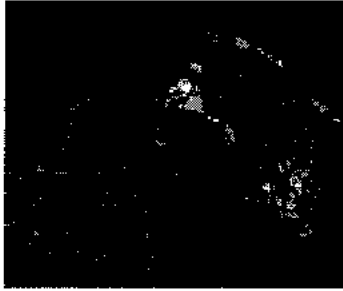


断る勇氣、 立ち去る勇氣

平成 29 年度薬物乱用防止高校生会議リーフレット

乱用されている主な薬物の種類

大麻 [俗称] ハッパ、マリファナ、グラス、チョコ、ガンジャ、ハシッシュ、野菜、ヘンプ など



- 酩酊感や情緒不安定など、脳に様々な不具合を生じさせる。
- 記憶や学習能力が低下し、社会生活に適応できなくなることもある。

覚醒剤 [俗称] スピード、シャブ、アイス、エス、やせ薬 など



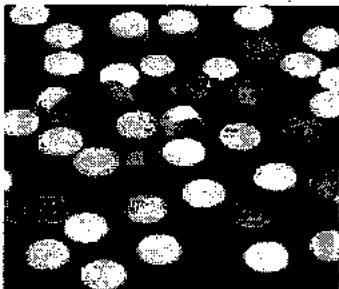
- 神経を興奮させ、眠気や疲労感がなくなり、頭が冴えたような感じになる。
- 効果が切れると、激しい脱力感、疲労感、倦怠感に襲われる。
- 依存性が強く、幻覚や妄想が現れる事がある。

危険ドラッグ [俗称] 合法ドラッグ、脱法ドラッグ など



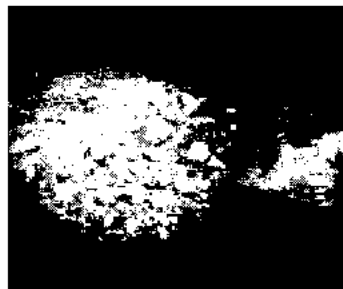
- ハーブ、お香、アロマオイル、バスソルトなどに見せかけているが覚醒剤や大麻と同じような成分が含まれている。
- 覚醒剤や大麻より危険な場合もある。

MDMA [俗称] エクスタシー、ハツ など



- 錯乱状態となり、高熱や記憶障害などの症状が現れることがある。
- 強い精神依存性があり様々な障害を引き起こす。

コカイン [俗称] コーク、プロウ、スノウ、ホワイト、クラック、チャーリー など



- 神経を興奮させ、疲労感や空腹感がなくなり気分が高揚する。
- 強い依存性があり、幻覚や妄想が現れることがあり、死に至る場合がある。

薬物についてのQ&A

Q1 高校生で乱用が多い薬物は？

A1 平成28年は大麻が最も多く、都内の高校生が6人も大麻取締法違反で検挙されています。全薬物事犯でも11人の都内の高校生が検挙されており、薬物乱用は他人事ではないのです。

Q2 薬物乱用は、なぜ危険なの？

A2 人間が生活していく上で最も大切な脳を侵してしまうからです。さらに薬物は、乱用すると精神障害を発症し依存症を引き起こします。一度ダメージを受けた脳は、決して元の状態に戻りません。高校生の時期は、心身ともに急速に発達するときであり、薬物を乱用してしまうと、脳や身体の成長がストップし、心身の発達が損なわれてしまい、大変危険です。

Q3 薬物乱用のきっかけは身近にあるの？

A3 違法薬物の誘惑は、至るところに潜んでいます。友人や先輩、恋人という身近な人から誘われることもあります。もし誘われたときはどんな理由であっても「断る勇気」と「立ち去る勇気」を持って、しっかりと断りましょう。
また、知らないうちに飲まされたり、無理矢理飲まされたりするということもあります。危険な場所には近付かないようにしましょう。

Q4 もし薬物を飲まされた場合はどうすれば良い？

A4 一人で悩まずに、学校の先生や信頼できる大人、警察や各種相談機関にすぐに相談してください。
また、薬物について悩みや疑問を感じたときも、手遅れになる前に、少しでも早く相談してください。



**どんな理由があっても
薬物を乱用してはいけません！
困ったときは、すぐに相談しよう！**



薬物の誘惑への断り方

最近、成績が下がる
一方なんだよね…



頭が良くなる薬だよ。
使ってみない？

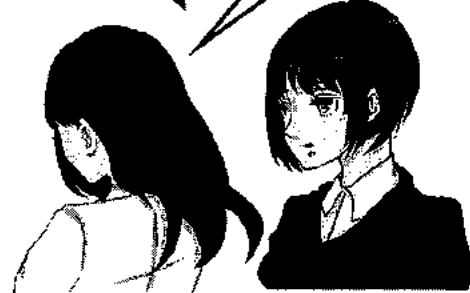
悪い例

友達の話だし
1回だけなら…



良い例

私は、薬物は使いたく
ないから受け取らない。
強要するならもう会わ
ない。さようなら。



やめたいけれど
やめられない



成績も上がったし、
自分の方で頑張
って良かった！



さあ！
君はどっち？

**「断る勇気」と「立ち去る勇気」
で薬物に勝とう！！**

高校生の事件

大麻取締法 違反の疑いで 書類送検

警察は大麻取締法違反などの疑いで、無職少年(16)と会社員の男ら3人を逮捕し、男子高校生7人を書類送検したと明らかにした。

警察によると、グループの家族から「葉物のような物が家にある」と相談があり、無料通信アプリ等のやりとりなどからグループでの大麻所持容疑が浮かんだ。

警察は、10人で大麻をやり取りしていたとみている。

高校生らは、警察の取り調べに対し、「みんなで吸うために持っていた。」
「興味本位だった。」と供述している。



高校生の違法薬物事件を見てみましょう。
これは高校生7人が、大麻取締法違反の疑いで、書類送検された事件だね。

"みんなで吸うため"に持っていたみたいですね。
薬物と関わりを持つ人とは、きちんと関係を絶たないと本当に危険だとい
うことがよく分かりました。



「興味本位だった」という彼らのように、好奇心から薬物に手を出してしま
うケースが多いんだよ。一度でも乱用してしまうと、やめられなくなって
しまい将来を台無しにしてしまう可能性があるんだ。



最初は好奇心からだったとしても、一度でも乱用してしまうと、将来が
めっちゃくちゃになってしまう可能性もあるんですね。



薬物の危険は身近に潜んでいるんだ。
他人事とは思わずに、身近な問題として捉えておくことが大切なんだよ。

社会の取組

●啓発活動

- ▶インターネット検索キーワード運動型広告
(「合法ハーブ」等の薬物に関するキーワードを検索すると、危険性を訴える警告が表示される。)
- ▶ポスター、リーフレットの作成、配布 ▶薬物乱用防止DVDなどの貸出
- ▶薬物乱用防止イベントの開催 ▶講習会の開催

●薬物問題を抱える人に対する取組

- ▶行政機関(精神保健福祉センター・保健所・就労支援施設など)
本人又は家族などに対して精神障害や心の健康についての面接相談・継続的指導を行います。
また、就職に向けての相談、準備、訓練等を行います。
- ▶医療機関(精神科・薬物依存症外来など)
専門的プログラムで治療を行います。
- ▶自助グループ(DARC・家族会・ナラノン・NAなど)
薬物依存症という病気からの回復や社会復帰をするために、適切な支援を行う回復支援団体で
す。回復のためのプログラムやグループミーティングを行います。

薬物乱用防止高校生会議参加高校生徒からのメッセージ

東京都立石神井高等学校 参加生徒10名

私たちはこれまでどれだけ薬物のことを学んできても、どこか「自分には関係ない」「他人事だ」と思っていました。

しかし、「痩せられる薬だよ」とか「疲れがとれる薬だよ」などの甘い言葉で誘われてつい1回薬物を乱用してしまい、気付いたときには薬物依存になっていたという事例を聞きました。さらに、自分が気づかない間に飲み物に混ぜられて薬物を飲まされることも知り、薬物に手を染める原因は身近にあるのだと思いました。

私たち高校生は、まだまだ知識が浅く危険がすぐ隣り合わせなんだということを知ってもらいたいです。

このリーフレットで薬物がどれだけ危険かということを少しでも多くの人に知ってもらえたらと思います。

そして、万が一誘われるようなことがあったらキッパリと断って欲しいです。

東京都立井草高等学校 参加生徒14名

この会議を通して、私たち高校生にとって遠い存在であると感じていた薬物は、実際はかなり身近に潜んでいるものということを知りました。そして、様々な場所へ実際に見学に行き、多くの経験から薬物はこんなに恐ろしく危険なものであることを改めて学ぶことができました。

また、一回でも薬物を使用すると「薬物乱用」になること、薬物を乱用してしまう「きっかけ」など初めて知ることもあり、大変貴重な経験になりました。

断る勇気、立ち去る勇気の大切さを皆さんにも是非知っていただきたいです。

興味本位で薬物に手を出すことは絶対にしてはいけません。

このリーフレットを読んで、少しでも薬物の恐ろしさを知っていただき、できるだけ多くの方が薬物に関わらずに生きていけるような世の中になると幸いです。

各種相談機関等

困ったときは、家族や先生、最寄りの警察署、または下記の専門相談機関等へ相談してください。

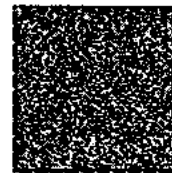
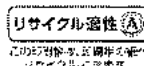
東京都立精神保健福祉センター ☎03・3834・4102
東京都立中部総合精神保健福祉センター ☎03・3302・7711
東京都立多摩総合精神保健福祉センター ☎042・371・5560

また、東京都福祉保健局ホームページでは、危険ドラッグについて分かりやすく説明しています。
ウェブサイト「みんなで知ろう危険ドラッグ」http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/no_drugs



企画・制作 平成29年度薬物乱用防止高校生会議
東京都福祉保健局健康安全部業務課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
☎03-5320-4505
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kenkou/kenkou_anzen/stop/index.html

平成30年3月発行
登録番号 (29) 384



5 会議に参加して

校長 武田 一郎

「平成 29 年度薬物乱用防止高校生会議」に都立井草高校とともに取り組むことになり、本校からは、生徒会の生徒が中心となり参加しました。

年度当初より、両校を持ち回りで会議を開催することとなりましたが、これまではそれぞれの学校が近くにあるものの、なかなか交流することはありませんでした。今回このような機会をいただくことにより両校の生徒同士が一つの目標達成に向けて情報収集する中で交流を図り、生徒たちが“自分磨き”に向かうことができ、非常に有意義な場とすることができたと思います。

さて、「薬物は、怖いもの、やってはいけないもの」ということは分かっている、それほど身近にあるものでもなく、意識して生活していなかったというのが正直なところだと思います。時折、有名スポーツ選手や芸能人などの事件の報道を耳にすることもあり、少なからず薬物はいけないものという意識はあったと思います。しかし、どちらかといえば、特別な人たちの出来事という見方が強かったのではないのでしょうか。

様々な専門の方々から薬物の毒性や常習性などを知り、人の体が蝕まれ、周囲の人たちにも大きな影響を与えてしまうことを学び、そして、合同会議を重ねることで少しずつ身近なこととしてとらえることができるようになってきたのだと思います。

また、井草高校の生徒との学び合いも新鮮で非常に熱心に取り組むことができ、予定していた会議では満足したものにならず、臨時に会議を開催するなど高い意識で取り組むことができたと思います。

本校では、『「チーム石神井」で文武二道の両立を！』をスローガンとして「学力と人間力を高め、社会での即戦力となる様々な力を身に付ける」を主眼に取り組んでいます。自ら主体的に課題を見つけ、解決に向けた取り組みを進め、他者と協働する力を身に付けることを目標としています。今回のこの取り組みは、課題解決に向けて多くの人々と協働して進めることができたと感じます。本校の生徒にとっても非常に意味のある有意義な取組として学ぶことができたと感じています。

これからの社会では、こういった自ら学んだ内容を多くの人たちの前で発表することが必要となります。自分の考えをいかに分かりやすく表現し、相手に理解できるように伝えられるかについて、実体験として取り組めたことに感謝いたします。

今後は学校としても、このような課題解決に向けた取組を進めていきたいと思っています。今回御指導いただきました講師の皆様、東京都福祉保健局健康安全部薬務課並びに東京都教育庁指導部指導企画課、関係の皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

副校長 福田 洋三

薬物乱用防止高校生会議への参加を打診された4月、私自身は初めてでしたが、本校の校長が、以前参加校だった経験があり、井草高校も積極的な対応をしてくださり、活動を始められました。7月からの高校生会議は、6月に発足した生徒会役員1・2年生が、薬物の話を聞き、警察犬の訓練、裁判傍聴等貴重な体験をし、様々な対話により、深い学びをして自ら考える機会となりました。

都民ホールで開催された麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会での成果発表は、井草高校の生徒と一緒に演じた高校生活を舞台とした薬物の劇で、一生懸命練習した甲斐が表れ、見ていて素晴らしいものでした。本校では演劇部でもない生徒の皆さんが自ら考えた台本で、2つの学校の個性を出しながら、仲良く演じていた姿は、その大会の華だと思いました。

昔、私が担任をしていた生徒が、覚醒剤を知らずに打たれたことがありました。薬物乱用防止は、社会が様々に進化しても、残念ながら、大きな社会問題であり、教育課題でもあります。明るい未来を若者の手で切り拓いてほしいと期待します。御指導いただいた東京都福祉保健局健康安全部薬務課、東京都教育庁指導部指導企画課の皆様、青野先生、岡本先生に感謝いたします。ありがとうございました。

指導教員 青野 弘一

今年度、前々任校の井草高校との薬物乱用防止高校生会議が決まり、生徒会担当として指導教員をすることになりました。縁を感じながら、自分が心掛けたことは、生徒の自主性と能力を最大限に引き出す環境を創るということです。

幸い生徒会長同士が知り合いだったこともあり、すぐに両校の生徒同士が打ち解けて、SNSを用いて高校生会議の内容をやりとりするなど、1つの「石神井草高校」のような密な融合ができました。

生徒たちには「断わることが難しい友人、恋人、先輩等からの誘惑をいかに断るか」という基本的な枠組みと方向性だけ示し、内容は彼らの創造性に任せました。福祉保健局や教育庁の方には、生徒たちの台本や演出等に問題がある場合には、即座に伝えてもらうようお願いをしました。彼らの対応力を信じていたからです。

発表当日、台詞が出てこない場面にはハラハラしましたが、何とかアドリブで乗り切ってくれました。生徒たちの力を再認識するとともに、彼らの成長を感じることができました。御指導いただいた東京都福祉保健局健康安全部薬務課、東京都教育庁指導部指導企画課をはじめ、今回このような機会を与えていただいた全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。

指導教員 岡本 裕治

薬物乱用防止高校生会議の指導教員として最初に心配したことは、石神井高校の生徒たちと井草高校の生徒たちが、お互いにうまく協力してよい発表につなげていくことができるのだろうか、ということでした。幸いなことに、双方の生徒会長が知り合いで仲も良かったこともあり、うまく連絡を取り合い、コミュニケーションが十分にとれたことが成功への足掛かりになったように思えます。しかしながら、会議に遅刻や欠席をしがちな生徒や、演技の練習中になかなかうまく台詞を言えずに葛藤した生徒もいました。彼らを叱咤激励する中で、福祉保健局や教育庁の方々、井草高校の先生方の御協力を得て、なんとか軌道に乗せることができました。

石神井高校と井草高校の生徒たちが立派な発表を遂行することができたという大きな成果は、彼らの今後の人生でも大きな糧となるはずです。また、半年をかけて習得してきた知識は、今後、彼らの友人や後輩たち、さらに彼らの子供たちに伝えられ広まっていくでしょう。中には、将来教壇に立ち、生徒にしっかり伝えていくことができる教員志望の生徒もいるかもしれません。そういう観点から、今回の薬物乱用防止高校生会議はとても有意義で、なおかつ生徒たちにとっては、かけがえのない素晴らしいものになったと確信しています。

2年 藤原 涼

今回の薬物乱用防止高校生会議で、警察犬訓練所や東京地方裁判所に行きました。私は、そこで様々な体験を通して、身近な存在にある薬物のことや薬物の危険性を学びました。現代社会では人々にとって辛いことが多く、嫌なことを忘れたい、人間関係がうまくいかない、テストの成績が振るわないなどの結果、自分のことが嫌いになったり、自分を大切にできなくなったりして、心が弱ったところに付け込まれて薬物を乱用してしまうというケースがあるということを知りました。警察犬訓練所では、警察犬がビニール袋で覆われた薬物でさえもしっかりと見つけることができていると、感動しました。この平成29年度薬物乱用防止高校生会議でたくさんのことを学ぶことができるとても良かったです。

2年 宮本 香琳

今回の薬物乱用防止高校生会議は、自分にとって、とても貴重で有意義な時間になりました。普段の薬物乱用防止の講演や講座は、どこか自分からは遠い存在と思い、あまり身に入っていませんでした。しかし、この薬物乱用防止高校生会議で学んだ薬物の別名や症状、高校生にも大麻や麻薬の乱用が多いことなどたくさんのことを覚えました。ふとテレビを見ていて、薬物のことがやっていると、会議で覚えたことが頭に浮かんでくるので、家族と話すこともありました。自分の知識をそういう何気ないところで身近な人に伝えられたら、もっと薬物乱用者が減ると思います。薬物乱用防止高校生会議で薬物乱用防止を学んだ者として少しでも多くの人に学んだことを伝えていきたいと思います。井草高校の生徒会とも仲良くなれてとても嬉しかったです。リーフレットは、私たちが今まで学んできたことを少しでも多くの人に伝えるためにあります。私たちが一番伝えたい、絶対に薬物をやってはいけないということ、リーフレットを見て知ってほしいです。

1年 泉川 航

薬物乱用防止高校生会議に参加して、知識や経験が増えました。8月31日に行った警察犬訓練所と東京地方裁判所での経験は、濃いものでした。知らないことも知れて、普段の生活ではできないような警察犬の世話や訓練の様子を見せてもらうなどよい体験でした。実際の裁判を傍聴して、使用している人の存在を改めて感じました。その後も、石神井高校と井草高校との間で様々な職の人の話を基に、議論を繰り返して、最も伝わりやすい劇で発表することとしました。自分はナレーションでしたが、演じている人はセリフを覚えることが大変そうだったので、その頑張りが内容も含め、多くの人に伝わって欲しいです。リーフレットには、緊急時に頼れる情報や豊富な知識を載せています。これを参考にして、これからの人生で薬物を誘われても断れるようになってほしいです。

1年 魚谷 拓海

僕はこの薬物乱用防止高校生会議に参加することで、以前から思っていた、薬物は怖いものというイメージがより強く具体的なものになりました。小、中学校の頃に総合的な学習の時間や保健の授業で講師の方々から薬物の説明を受けることはありましたが、今回のように自分たちが発表する側になることで、より細かく薬物のことを知ることができたため、もしその状況下に自分が置かれたとしてもどう対応すれば良いのかを学ぶことができました。また、今回学んだことを他の人に教えていきたいのですが、そのことをどうやったら多く伝えられるのかはまだ分からないので、少しずつ自分が体験したことを伝えていこうと思います。そして、他の人に伝えるのはもちろんのこと、自分がそういったことに手を出さないよう、しっかり気をつけていきます。

1年 梅林 美空

私は初めて薬物乱用防止高校生会議と聞いたとき、薬物という単語を見つけて、正直、またかーと思いました。小学校、中学校でもビデオなどで学んでいたからです。しかし、講師の方々に来ていただいて聞いた内容は私の知らないことも多く、とても新鮮に感じました。井草高校との劇でもそのことを生かしてできたと思います。初めこそ、他校の生徒だからと思ってしまって緊張していましたが、会うたびにそれはなくなっていきました。今回の薬物乱用防止高校生会議に参加できたことで、学べたことや体験できたことは沢山あります。そのことを、友達や家族などのまわりの人に教えたりして、薬物について広めていきたいです。

1年 小澤 愛夏

最初の薬物乱用防止高校生会議に参加したときは、全くイメージができなかったし、どんなことをやるのかも決まっていなかったのが不安でした。また、会議を行う回数が増えていく度に、やることは順調に決まっていきましたが、本当にこんなことができるのか自信がありませんでした。しかし、警察犬訓練所へ行ったり、裁判傍聴に行ったりしたときには、貴重な経験ができてうれしかったし、誇らしかったです。実際に麻薬を使ってしまった人の話や彼らの話を聞くカウンセラーの方の話もわかりやすく、どのような感じで使っているのかがイメージしやすかったです。今回、二校で薬物乱用防止高校生会議をしてまとまるのが不安だったけれど、この二校でできてよかったと思いました。

1年 葛野 直央

私は、この薬物乱用防止高校生会議に参加して多くのことを学びました。

1つ目は、薬物の危険性を改めて学んだことです。特に元薬物乱用者であるダルクの人の話を聞いたことが強く心に残っています。自分の経験したことだからこそ言葉一つ一つに重みや伝えてくるものがある、とてもいい経験になりました。2つ目は、他の高校と交流する大切さです。井の中の蛙という言葉があるように、自分の高校を他の高校と比べて、いろいろ知ることができて良かったです。

これらの他にも、いろいろ学んだことがあります。この経験を生かし、今後に役立てたいです。

1年 長谷 侑杜

私が薬物乱用防止高校生会議で改めて学んだのは、薬物の危険性やそれで起こる症状などです。色々と学び直したことも多く、しかも日に追われながらでしたが、それ故記憶に残っています。学習して良かったことでまず思いつくのは、薬物乱用を体験した人の話を聞いたことです。普通にしていたら話を聞けることもなかったですし、これは良かったことだと思います。学習して感じたことは、思っていた以上に会議の中でやりたいことが多く、かなり厳選しないといけないと感じました。同世代の高校生へ向けてのメッセージは何についても言えることですが「自分だけは、という慢心こそが身を滅ぼす」です。

1年 三枝 俊平

この一年間じっくりと生徒会のみinnで薬物について考えて良かったことがあります。それは、24名で意見を出し合うことで自分では気づかなかったことや新しい案がポンポン出てきて、薬物の凶悪さや薬物乱用で人に迷惑をかける部分など、どんどん知らない知識が頭に入ってくるのが楽しくて、会議をしていて、とても有意義な時間を過ごせたことです。また、井草高校と石神井高校の人たちは人一倍に頑張る人ばかりだったので、本番の演技の練習などをとても熱心にしたり、講義の講師にもたくさん質問を聞いたりとすごく熱意がある二校だなとしばしば思っていました。この薬物乱用防止高校生会議の代表校に井草高校と石神井高校が選ばれるのはもうそうそう無いと思うので、この経験と幸運に感謝するとともに将来の糧にして誇りに思っていきたいと思います。

1年 宮下 かつき

薬物乱用防止高校生会議で、私は、薬物についての知識を今までよりたくさん身につけることができたと思います。中でも特に印象的だったのは実際に薬物を乱用したことがある方から話を聞いたことです。私は初めて薬物を乱用したことがある方に実際にお会いしました。一度でも乱用してしまうと薬物を手放すのは難しいと学んできたので、手放すことに成功した方の話は本当に重みがあって、誰よりも説得力がありました。どうして薬物に手を出してしまったのか、どのようにしてやめることができたのかという点も薬物乱用経験者の方から聞くことでより現実味があって、一つ一つのお話に本当に重みがありました。そして、私が一番思い出深かったのは都民ホールでの発表です。私たちは劇を披露したのですが、それまでの練習の積み重ねや学んできたことを全て出し切る日でした。この日のために、井草・石神井両校の生徒で頑張ってきました。全てが終わったとき、達成感と結束力が大きく感じられました。

校長 有明 得良人

薬物乱用防止高校生会議への参加依頼があったとき、本校生徒会の皆さんに尋ねてみると、是非参加したいとの答えが返ってきました。そして生徒会を中心として有志を募り生徒会だけでなく意欲のある生徒とともに参加することとなりました。さすが井草の生徒会と感激しました。今年度は、石神井高校と井草高校の2校による高校生会議が実現され、井草高校・石神井高校を会場として協議を進めリーフレットの作成に力を注ぎました。

11月26日(日)には、都民ホールにて開催された『麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会』に参加し、成果発表する機会を得ました。ここでは、毎回の会議や研修で培った薬物乱用の危険度の知識を基に2校合同で演劇(寸劇)の形で発表することとなりました。誘われたときの断り方について、友人・先輩・恋人からの場面を設定して来場者に訴えかけるものでした。演劇の内容はなかなかのものでしたが、それ以上に近隣の石神井・井草の2校が、この機会を活用して共に学び共に苦勞して作り上げた、そのことに大いなる意義のあるものだと思いを確認しながら思ったところです。

今後は、この体験を有意なるきっかけとして、薬物乱用防止に届まらず、また生徒会のみならず、あらゆるテーマ・活動母体で2校の交流を深め、今までできなかった何かを見出し、近隣高校の新たな交流を推進してくれるものと期待しています。

残念ながら近年、薬物乱用に関する事件は後を絶ちませんが、29年度中には、自己の薬物乱用でなく、ライバル選手より優位に立つため、その選手に禁止薬物を混入させて飲ませ失格させるという大変衝撃的な事件がありました。被害者には防ぎようのない事件であり、スポーツ界のショックは多大なるものと言わざるを得ません。いつか薬物乱用が根絶される日まで、この活動を継続・拡充されることを願ってやみません。

結びに、本校生徒にこのような大変貴重な体験を与えてくださるとともに、懇切丁寧に御指導を賜った東京都福祉保健局健康安全部薬務課並びに東京都教育庁指導部指導企画課の皆様、そして何より石神井高校の先生方・生徒の皆様方に感謝申し上げ、私の挨拶・御礼の言葉と致します。

副校長 小高 潤子

この度は、井草高校と石神井高校の生徒会と一緒に、薬物乱用防止高校生会議に参加させていただき、有意義な時間を持てたことが非常に良かったと感じております。

両校を行き来しながら会議を実施し、そして、本校で熱心に劇の練習をしていたのを拝見させて頂きました。本番の、集中し熱演をしている生徒を見て、胸が熱くなりました。授業の姿からは、あのパワーは見る事が出来ない姿であったので、高校生のもっている若さと迫力があれば、どんな方たちにも想いを伝えることができると思ったほどです。

今回の活動を御指導並びに生徒達を支えていただきました、東京都福祉保健局健康安全部薬務課、東京都教育庁指導部指導企画課、各校の先生方に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

指導教員 木原 駿

今回は石神井高校とともに「薬物乱用防止高校生会議」に参加させていただき、様々な貴重な体験をさせていただきました。警察犬訓練所で薬物捜索訓練の風景や東京地方裁判所で裁判を傍聴する中で、間違っと思いついでいることが多いことに気づき、薬物乱用は身近な犯罪なのだと感じました。薬物を依存してしまった方々からも「更生するため何年間も苦勞していますが、完全に依存から脱却することはできない」と聞き、いかに危険で、重い犯罪なのかということのを再認識することが出来ました。生徒は、成果発表に向け発表内容の協議や演劇の練習を重ね、多くの生徒の考えや立場を理解し、自分の考えを正確に伝えることができたとともに、様々な課題を発見し、適切な計画を立て、その課題を処理し、解決する貴重な経験ができたことと思います。このような素晴らしい機会を設けてくださった東京都福祉保健局健康安全部薬務課並びに東京都教育庁指導部指導企画課の担当者の方々、関係の皆様深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2年 新井 廉生

私は友人からこの薬物乱用防止高校生会議について聞き、会議のことを知りました。友人に知らされていなければ、私はこの活動を知ることもなく、無関係な者のまま、暮らしていたでしょう。というのは、参加して大きく人生が変わった、などという意味ではありません。偶然知り、参加しているということが、薬物乱用を始めるきっかけと同じようなものかもしれない、と私は思ったのです。薬物であっても、誰かから予期せずそれを知らされ、薬物乱用をしてしまう。知らなかったら無関係のまま生きられたかもしれないのに。もちろん、そこでしなければいいのですが、誰でも巻き込まれることが有り得るのだと思いました。それは、私自身や私の身の回りの人も例外ではありません。

だから、私は、自分に関係ないとは思わず、もし、巻き込まれたとしても、この活動を通して学んだことを活かし、対処したいと思います。

2年 今村 瑠花

今回、薬物乱用防止高校生会議に参加して、様々な場所を見学したり、様々な講師の方に教わったりしました。その経験を通して、私は様々なことを学びました。中でも一番記憶に残っているのが薬物裁判の傍聴です。目の前で起こっている本当の裁判を見て、人生が壊れるのは一瞬なんだなと感じました。「たった一回、先輩から勧められた薬物を服用しただけ。それだけで、未来も、奥さんも、子供も失ってしまった。生まれてから、愛情をかけられ、勉強をし、習い事をし、就職をし、恋をし、結婚をし、家庭を築いて…その先もつながっていくはずだったのに。」そこで途切れてしまった人生を見て、私は悲しくなり、そして、薬物乱用者を生み出してはいけないと思いました。私たちの声が、心が、少しでも多くの人に伝われば良い。そして、その人たちが自分の親しい人たちに伝えて、もっと多くの人に伝われば良いと思いました。

2年 海老澤 優生

「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」と小学生の頃から何度も聞かされているにもかかわらず、高校生が今さら何を学んで、それを発表する必要があるのだろうか。これが第1回会議の時に感じたことでした。

そんな中、第2回会議で訪れた東京地方裁判所で傍聴した公判で衝撃を受けました。家族を持ち、働いているごく普通の人が、薬物を使ってしまっていて、自分も何かの拍子にってしまうのかもしれないという恐怖も感じました。その後、薬物を学生時代に乱用した経験のある男性の体験を直接聞くことや、自分たちで考えた演劇を通して、高校生でも薬物を使ってしまう可能性があるのだなど、深く再認識することができました。

今回学ぶことのできた薬物の知識が、多くの人に知ってもらえれば、薬物乱用は少しでも減ると思います。この会議で出会った人や得た知識を忘れずに、今後少しでも薬物乱用が減るようにできたらいいなと思います。

2年 奥澤 真子

この薬物乱用防止高校生会議に参加したことで、今まで以上に薬物についての恐ろしさや自分たちにとってどれだけ身近なものかを知ることができました。今年の春から始まったこの会議の中で薬物についての知識はもちろんのこと、他校の生徒と関わること、全員で一つの大きな発表のために試行錯誤を繰り返しながら、協力して作りあげていくことなど、本当に貴重な体験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。それと同時に、私たちの発表やリーフレットを通して、少しでも多くの中学生や高校生に薬物の本当の恐ろしさを知ってほしいです。薬物の誘いは私たちのすぐそばに潜んでいます。絶対に油断せず、その誘いを断る勇気をもって生活していきたいです。

最後に私たちの高校生会議をサポートして頂いた東京都庁の方々、両校の先生方、本当にありがとうございました。

2年 木村 未来

今回、私は薬物乱用防止高校生会議に参加してみても、私は薬物乱用に対する知識がまだまだ少ないなと思いました。小学校や中学校でも薬物乱用について勉強してきたはずでしたが、ほんの一部のことでしかないことを実感しました。この会議の一環として、夏休みの最終日に私たちは警察犬訓練所と東京地方裁判所に行きました。警察犬訓練所では、薬物を捜索する警察犬の説明や訓練を見せてもらいました。警察犬の訓練では、人が布に肌をこすりつけただけのガーゼ2枚を生徒代表の人が用意して、1枚は何個かあるフタのうちの1つのフタの下に隠し、もう1枚を警察犬が嗅いでから隠したガーゼを探し当てるというものでした。警察犬は一つ一つフタを嗅いでいき、迷うことなくガーゼが入っている場所を当てました。普段は訓練の一つとして行っているそうです。薬物を探すことも、とても大変なんだなと思いました。

2年 駒嶺 純大

私は、この薬物乱用防止高校生会議を通して、何故薬物に手を出してしまうのかを詳しく理解することができました。講師の方がおっしゃっていたように、若者の場合は、相手との関係性を守るために、薬物に手を出すケースが多いことが分かりました。学生にとって、友人の存在は結構大きいと思います。そのような友人に誘われたときに、キッパリと断る勇気と立ち去る勇気が必要であると学びました。薬物の乱用を止めたとしても、脳には傷が残ってしまい、乱用を続ければ最悪の場合、死に至ることもあるため、とても恐ろしいと思いました。薬物への誘惑は、ちょっとした隙をついてくるため、身近な問題です。そのため、自分には関係がないとは思わず、薬物の問題を捉えてほしいです。

2年 山本 奈央

今回、薬物乱用防止高校生会議に参加し、自分にとって本当に大きな学びになりました。薬物の名称だけでなく、具体的でより詳しい症状、作用、害などを教わることができ、驚きも多く感じました。また、普段お話を聞く機会のない、実際に薬物に手を染めていてそこから脱した方をはじめ、リアルな内容のお話を聞いたことで、薬物の存在を身近に感じるようになりました。警察犬の訓練所や裁判傍聴も、すごく貴重な体験になりましたし、全体的に楽しみながら薬物の危険さ、恐怖、問題の身近さ、対策等を学べた印象が大きいです。今回は私たち井草高校と石神井高校が代表になって、この取組に参加しましたが、これからもっと多くの高校生がこのように薬物について学ぶ機会を持てることを願っています。私たちの取組が、高校生の薬物乱用防止に少しでも貢献できれば嬉しいです。また、より身近な問題として捉え、危機的意識をもち、対策を考えるきっかけにしてほしいと思います。

2年 山本 真臣

今回の薬物乱用防止高校生会議に参加して思ったことは、薬物というものは案外身近に潜んでいるものだと実感しました。

今回の会議を通じて、僕たちの身の回りにはたくさん、自分の人生を台無しにしてしまう誘惑があることを知り、今までは他人事だったようなことが自分の身にも迫っていることを改めて認識することができました。今までは、薬物は危ないからやるなという抽象的なことでしかなかったけれど、今回の薬物乱用防止高校生会議では、薬物はなぜ危ないのか、乱用したらどのようなことになるのか、その後はどうなるのか、ということをも具体的かつ詳細に理解することができました。薬物は、実際に多くの人々の人生を壊してしまうほどの影響があり、これからも多くの人々の人生を壊していくと思います。しかし、これから、今回のような会議に、多くの人に参加してもらえれば薬物乱用防止の輪を広げていけると思っています。

2年 渡部 花梨

薬物乱用防止高校生会議に参加して感じたことは、薬物の恐ろしさとそれらに対抗するための様々な対策です。

会議では実際に薬物に依存した方の話を聞く機会がありました。その際に感じたことは「断ることの難しさ」です。薬物は一度乱用するだけでも犯罪と分かっている先輩など立場が上の人に強要された場合、断るのは本当に大変だとその方の話を聞いて感じました。また薬物に依存した後、社会の中で生活することが困難になりだんだん孤立してしまうという話を聞き、恐ろしく感じました。友達、家族を傷つけないと思う反面、自分で止められないというのはとてもつらいと思います。これらの薬物乱用を取り締まるため、また薬物依存者が社会復帰できるように様々な対策が成されていることも同時に知りました。

今回得た知識で高校生として何ができるのか考えていき、情報を広げていこうと思います。

1年 齋藤 若菜

この薬物乱用防止高校生会議に参加する前の私は、薬物について正確な情報を知らなかったため、たばこの一種かなと思っていました。薬物は一回やっても、自分の意志でやめられると思っていました。しかし、現実はその甘くはなく、一回でも乱用してしまうと立ち直ったつもりでも、いつまた薬物が欲しくなるか分からないそうです。私は、話を聞いて、恐ろしくなりました。こんな大切なことを今まで私はなぜ知らなかったのだろうか。この会議に参加しなかったら私は薬物を誘われても断り切れなかったと思います。

また、私は、「麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会」の成果発表での劇の脚本と演出を担当しました。この劇はさまざまな誘われ方とその断り方をとりあげてあります。少しでも多くの人に薬物の正しい知識を身につけて、どんなに誘われても断れるような勇気をもってほしいです。薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

1年 佐藤 李帆

私は薬物乱用防止高校生会議を通して薬物は思っていたより身近なものだということを改めて感じました。私たちは今回、成果発表として3つのパターンの劇をやりました。1つ目は友人に誘われる場合、2つ目は恋人に誘われる場合、3つ目は先輩から誘われる場合でした。私は友人に誘われる場合をやりました。現実にもありそうなシチュエーションだったので自分たちも気をつけなくてはいけないと思いました。

また第2回会議で行った東京地方裁判所では実際の裁判を見て、一回でも薬物に手を出してしまったら薬物に依存してしまい、負のループから抜け出せなくなってしまい、人生が狂ってしまうということを学びました。

薬物乱用は遠く感じるかもしれませんが、私たちの身近に危険が潜んでいます。その恐ろしさを知り、自分たちが巻き込まれないように注意をしてほしいと私は思います。

1年 須永 ひより

今回の薬物乱用防止高校生会議に参加できたことは私にとって本当に良い経験になりました。薬物についての学習は小学校や中学校でも何度かしていたので今更学び直すこともないと、初めは思っていました。しかし、専門の人の話や薬物乱用経験者の方の話を聞いて、まだまだ知らないことがたくさんあったなと気づき、もっと多くの人が薬物について詳しく知る必要があると思いました。私は、薬物は誘われたら断れば良いとばかり思っていました。誘われるのではなく飲み物に入れられてしまうなどして無意識のうちに薬物を使用してしまうことがあると知って驚きました。自分の身を守るための正しい知識をこれから先、さらに多くの人に知ってもらえるようにしていきたいと思います。

1年 田邊 ほのか

今回、薬物乱用防止高校生会議に参加できて良かったと思いました。最初は劇のセリフでもあったように、今でもう何回も薬物についての話を聞いているから今さら学ぶことはないだろうと思っていました。しかし、学校の授業だけでは知ることのできない実際の事柄について知ることができました。警察犬の訓練所では目の前で薬物を探し出す警察犬の姿に驚き、東京地方裁判所では裁判中の緊迫感を感じることができ、良かったです。また、劇をすることでさらに薬物について深く考えることができました。ここで学んだことを他の場所でも生かして、自分だけではなく周りの人も薬物と関わることをしないような生活を送っていきたいです。

1年 平井 花菜

今回、薬物乱用防止高校生会議に参加したことで、今まであやふやだった薬物に関する知識がとても明確になり、薬物の危険さや身近さを再認識することができました。小学生の頃から薬物について学ぶ機会はたくさんありましたが、今までその知識は薬物から自分の身を守れるほどしっかりとした知識ではありませんでした。そういった高校生は全国に多く存在すると思います。確かに、ほとんどの人は薬物と関わりのないまま人生を終えるかもしれません。しかし一方で、知識不足のせいで知らないうちに犯罪者になってしまったケースも少なくありません。高校生という人と触れあう機会が多い時期だからこそ薬物の危険さを再認識することが大切だと思います。

私たちの発表の成果やリーフレット作成が少しでも多くの高校生に伝わり、正しい薬物に関する知識が広まれば嬉しいです。

6 参 考

(事前・事後アンケート集計結果)

平成29年度薬物乱用防止高校生会議 参加者アンケート集計結果

高校生会議参加生徒に対し、会議開催前（事前）と会議終了後（事後）にアンケートを実施した。
有効回答者数は、24人である。

【事前・事後Q1】乱用が問題になっている薬物について知っている名称や用語（複数回答可）

	事前		事後	
	人	%	人	%
覚醒剤	23	96	24	100
大麻	23	96	24	100
あへん	20	83	23	96
モルヒネ	10	42	18	75
ヘロイン	14	58	23	96
コカイン	20	83	24	100
MDMA	12	50	24	100
LSD	9	38	12	50
マジックマッシュルーム	9	38	12	50
シンナー	21	88	23	96
トルエン	2	8	4	17
キシレン	1	4	1	4
危険ドラッグ	23	96	24	100
デザインナーズドラッグ	3	13	4	17
向精神薬	3	13	15	63
ステロイド	20	83	21	88
ガス	4	17	10	42
その他	0	0	0	0

【事前・事後Q2】覚醒剤について知っていること（複数回答可）

	事前(%)	事後(%)
ア 無色の結晶又は白色の粉末である。	83	96
イ 注射するほかにもいろいろな使用方法がある。	83	96
ウ 使用すると、一時的に気分がスッキリし、疲労がとれたような感じになる。	92	96
エ 効果が切れると倦怠感や疲労感におそわれる。	96	92
オ 一度使うと繰り返し使うようになる。	96	96
カ 長期間使用すると、幻覚や妄想がひどくなり、錯乱状態になる場合がよくある。	88	100
キ 長期間使用をやめていても、何らかのストレスで幻覚や妄想におそわれることがある。	79	96
ク その他	8	0
ケ 知っているものはない、わからない。	0	0

【事前Q3】 小学校、中学校、高校で薬物乱用の授業を受けたことがあるか。

ある場合は、授業を受けたことのある学年（複数回答可）

- ア ある 24人 小学校（低学年 1人、中学年 2人、高学年 17人）
中学校（1年 11人、2年 19人、3年 17人）
高校（1年 11人）※今年度は高校3年生の参加はなし。
- イ ない 0人

【事前Q4】 授業の内容（複数回答可）

- ア 脳や体がむしばまれる。 19人
イ 急性中毒で死亡する恐れがある。 13人
ウ 犯罪に巻き込まれる。 16人
エ 使ったり、所持したりすることは違法 22人
オ 殺人などの犯罪を起こす。 14人
カ 依存性があるために薬物を乱用すると止められなくなる。 23人
キ 薬物乱用の定義 14人
ク 未成年者で薬物を乱用すると、その時点で個人的成長が止まる。 10人
ケ フラッシュバック現象 13人
コ 薬物乱用の3要因 6人
サ 薬物乱用者は、凶悪な犯罪を起こしやすい。 12人
シ 薬物乱用防止キャンペーン 13人
ス その他 1人
セ 覚えていない・忘れた 1人

【事前Q5】 授業の形式（複数回答可）

- ア 薬物乱用に関して先生が講義 15人
イ 薬物乱用に関して講師が講義 18人
ウ ビデオで薬物乱用について学習 21人
エ ロールプレイング（役割演技法）を実施 8人
オ テーマを決めて討論 1人
カ テーマを決めて研究発表 1人
キ シナリオを作成し、上演 2人
ク その他 0人
ケ 覚えていない・忘れた 1人

【事前Q6】授業を受けた感想（複数回答可）

- ア なぜ薬物乱用はいけないかを理解した。 20人
- イ 誘われたときに断れる自信がついた。 17人
- ウ 授業を受けたときはわかったが、内容を忘れてしまった。 4人
- エ 自分には役に立たないと思った。 3人
- オ その他（もっと薬物について学びたいと思った） 2人

【事前Q7】授業で学んだことについて、家に帰ってから家族と話題にしたことがあるか。

- ア ある 13人
- イ ない 11人

【事前Q8・事後Q5】「薬物」「危険ドラッグ」についてどのようなイメージを持っているか。

（複数回答可）

	事前(%)	事後(%)
ア 犯罪	88	96
イ 事故	54	67
ウ 怖いもの	88	100
エ 危険	88	100
オ 乱用	83	100
カ 依存	92	92
キ 流行	13	8
ク 他の犯罪や事故を引き起こす	63	88
ケ 他人に迷惑をかける	79	88
コ 自分には関係ない	29	0
サ 個人の自由	4	0
シ 遠い存在	29	8
ス 暴力団	42	67

【事前Q9・事後Q3】自分や友人にとって薬物が身近な問題であると思うか。

	事前(%)	事後(%)
ア そう思う	63	92
イ そうは思わない	37	8
ウ 無回答	0	0

【事前Q10・事後Q4】友人に薬物のことで相談を受けたり、自分が誘われたりしたら（抜粋）

ア 相談を受けたら

【事前】

- ・よく聞いてあげ、一番良い対処法を一緒に考える。
- ・冷静に相手と一緒に考えて最終的には、手を出さないよう方向に持っていく。
- ・どんな事をしてもしめる。
- ・もし使用していたら、止めさせる。
- ・警察やカウンセラーに相談しなさいと言う。
- ・まずは、親に相談して、その後に先生に言う。
- ・自分ではどうしようもないので、病院や施設に行ってもらおう。
- ・自分では判断できないので、よく話を聞いて、頼りになる大人に助けを求めよう。
- ・逃げる。
- ・話は聞くが、解決できるかは分からない。

【事後】

- ・絶対にやらせないように今回学んだことを伝える。
- ・その友達が使わないように、それを使ったらどうなるか危険性を説明し、絶対に手をつけないように説得する。
- ・絶対にその子が薬物をもらわないように話をよく聞き説得する。
- ・とりあえずやめろと言う。
- ・説得して止めさせる。
- ・絶対に使ってはいけないと忠告する。
- ・辞めるように促す。
- ・断わって、その人との関係を断つように言う。
- ・薬物乱用の危険さを伝え、薬物乱用をしないよう、またはやめるよう促す。
- ・親に相談して、自首を勧める。
- ・頼れる人に一緒に相談に行く。
- ・病院や保健所に行かせる。
- ・相談窓口を紹介する。
- ・もし、もう薬物を使っていたら、医療機関、警察、学校の先生等、しっかりと対応できる大人への相談をすすめる。
- ・大人に言う。
- ・しっかりと相手の話を聞き、抱え込まないようにする。頼れる大人に相談する
- ・そんな奴は友人じゃないと縁を切る。

イ 誘われたら

【事前】

- ・絶対に断る。
- ・きっぱりと断る。
- ・危ないものだからと言って断る。
- ・私、まだ死にたくないと言って断る。
- ・断固拒否
- ・やらないことを伝え、友人にもやめた方が良いことを伝える。
- ・断わるのが難しい場合は先生、警察、親に相談する。
- ・無視する。
- ・その場から逃げる。
- ・近づかない。
- ・警察などの大人に知らせる。
- ・取ってもらって後で警察へ持っていく。
- ・やめろよと言ひ、やめなかったら縁を切る。
- ・縁を切る。

【事後】

- ・絶対に使わないと言って断る。
- ・相手が誰であってもきっぱり断る。
- ・興味がないことを伝え、きっぱり断る。
- ・断わって逃げる。
- ・絶対やらない。
- ・今回習ったことや教わった話を思い出し、強い意志をもって断る。
- ・断って、薬物に関係する人との関係を断つように言う。
- ・家族や学校等、頼れる大人に相談するようにする。
- ・その場を離れる。親に相談する。
- ・そんな奴は友人じゃないと縁を切る。
- ・断わって友達との関係を断つ。
- ・すぐにその場から立ち去る。誘ってきた人との縁を切る。
- ・縁を切る。

【事前Q11】薬物のことで知りたい内容（複数回答可）

ア 薬物が心身に与える影響について	7人
イ 乱用のメカニズム、自分で乱用を止めることが難しい理由について	14人
ウ 薬物乱用が社会に与える影響について	10人
エ 回復過程について（治療に必要な期間、後遺症など）	15人
オ 違法な薬物の使用で受ける社会的な罰について	11人
カ 薬物を乱用するきっかけについて	9人
キ 最近の乱用者数の変化、乱用薬物の傾向について	13人
ク その他（具体的に）	0人

【事前Q12】薬物乱用防止を唱える「ダメ。ゼッタイ。」という合い言葉を知っていますか。

- ア 知っている 24人
イ 知らない 0人

【事前Q13】薬物乱用防止高校生会議に参加してみようと思った理由、してみたいことなど（抜粋）

- ・私達高校生がどれだけ正しい知識をもっているか。再度確かめ、改めて乱用を防止するにはどうすれば良いかを学習したい。
- ・今まで、何度も薬物はやってはいけないと言われて来て興味を持ったから。
- ・高校生だからこそ様々なことについて考えるべきだと思ったから。
- ・この機会にたくさんのことを学び、多勢の人に学んだことを教えたいと思ったから。
- ・最近、薬物による悲惨な事故も多く起きていることに恐怖と怒りを感じ、これ以上罪のない人を傷つけないために、次の世代である私達が立ち上がらなければと思ったから。
- ・中学生の時に実際に使用した方の話を聞き衝撃を受け、薬物の危険性をもっと知りたいと思ったから。
- ・薬物は今、どのような人（故意なのか、知らなくてやっているのか）が使っていて、薬物の使用を減らすためには、どうすべきかを知りたかったから。
- ・友人に誘われたため。
- ・薬物が身体に悪影響を与えるメカニズムを知りたい。
- ・少しでも自分達にとって危険な薬物のことについて理解を深めたい。
- ・薬物を乱用することによってどのような影響があるかについて。
- ・どのような薬物の種類があり、どのような影響を及ぼすのか。
- ・指定された2校のメンバーとして参加できたので良い機会だと思います。

【事後Q6】薬物乱用防止に効果があると思うもの

	ある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ない
ア 高校生会議に参加する	23人	0人	0人	1人	0人
イ 授業で教わる	14人	9人	1人	0人	0人
ウ 回復者の話を聞く	20人	3人	1人	0人	0人
エ 薬物乱用防止ポスター・標語等を作成する	9人	9人	3人	3人	0人
オ リーフレット・読本を読む	11人	11人	1人	1人	0人
カ 啓発イベントを実施する	18人	4人	0人	2人	0人
キ 啓発イベントに出席する	19人	4人	0人	1人	0人
ク 他の高校生の薬物乱用防止活動を知る	12人	9人	2人	1人	0人
ケ 取締まりを厳しくする	19人	4人	1人	0人	0人
コ 罰則を厳しくする	18人	6人	0人	0人	0人

平成29年度薬物乱用防止高校生会議 事前アンケート

学校名 _____ 高等学校 _____ 年 _____ 氏名 _____
(氏名はアンケート結果集計のために用いますので、公表することはありません。)

薬物乱用に関して、以下の質問にお答えください。

1 薬物乱用とは、医療目的でない薬物又は医薬品を不正な目的で使用することをいいます。最近、乱用が問題になっている薬物について、知っているものに、○を付けてください。また、()内の用語のうち、知っているものにも○を付けてください。(複数回答可)

- ア 覚醒剤 (エス、スピード、アイス、冷たいの、クリスタル、シャブ、ヒロポン、メタンフェタミン、アンフェタミン)
- イ 大麻 (ハッパ、ハシッシュ、マリファナ、グラス、チョコ、クサ、ガンジャ)
- ウ あへん (けし)
- エ モルヒネ
- オ ヘロイン (チャイナホワイト、ジャンク)
- カ コカイン (コーク、スノウ、ホワイト、クラック、ロック、チャーリー)
- キ MDMA (エクスタシー、XTC、バツ、^{ぼつ}X、罰)
- ク LSD (エル、アシッド、フェニックス、ドラゴン、ペーパー)
- ケ マジックマッシュルーム
- コ シンナー (アンパン、ジュントロ)
- サ トルエン
- シ キシレン
- ス 危険ドラッグ (脱法ドラッグ、合法ドラッグ、脱法ハーブ、合法ハーブ指定薬物、シバガス)
- セ デザイナーズドラッグ
- ソ 向精神薬 (ハルシオン、リタリン、^{みんざい}眠剤)
- タ ステロイド (筋肉増強剤、ドーピング)
- チ ガス (ガスパン遊び)
- ツ その他 ()
- テ 知っているものはない・わからない

2 覚醒剤についてどのようなことを知っていますか。テレビや新聞、雑誌などで知った知識で構いません。この中で知っていることがあれば該当する記号に○を付けてください。(複数回答可)

- ア 無色の結晶又は白色の粉末である。
- イ 注射するほかにもいろいろな使用方法がある。
- ウ 使用すると、一時的に気分がスッキリし、疲労がとれたような感じになる。
- エ 効果が切れると倦怠感や疲労感におそわれる。
- オ 一度使うと繰り返し使うようになる。
- カ 長期間使用すると、幻覚や妄想がひどくなり、錯乱状態になる場合がよくある。
- キ 長期間使用をやめていても、何らかのストレスで幻覚や妄想におそわれることがある。
- ク その他 ()
- ケ 知っているものはない・わからない

3 小学校、中学校、高校で薬物乱用防止の授業を受けたことがありますか。授業を受けたことのある学年に○を付けてください。(複数回答可)

- ア ある
小学校(低学年、中学年、高学年) 中学(1年・2年・3年)
高校(1年・2年・3年)
- イ ない

「イ ない」と答えた方は8にお進みください。

3で「ア ある」と答えた方に質問します。

4 授業の内容について、あてはまる記号に○を付けてください。(複数回答可)

- ア 脳や体がむしばまれる。
- イ 急性中毒で死亡する恐れがある。
- ウ 犯罪に巻き込まれる。
- エ 使ったり、所持したりすることは違法
- オ 殺人などの犯罪を起こす。
- カ 依存性があるために薬物を乱用すると止められなくなる。
- キ 薬物乱用の定義
- ク 未成年者で薬物を乱用すると、その時点で個人的成長が止まる。
- ケ フラッシュバック現象
- コ 薬物乱用の3要因
- サ 薬物乱用者は、凶悪な犯罪を起こしやすい。
- シ 薬物乱用防止キャンペーン
- ス その他 ()
- セ 覚えていない・忘れた

3で「ア ある」と答えた方に質問します。

5 授業の形式であてはまる記号に○を付けてください。(複数回答可)

- ア 薬物乱用に関して先生が講義
- イ 薬物乱用に関して講師が講義
- ウ ビデオで薬物乱用について学習
- エ ロールプレイング(役割演技法)を実施
- オ テーマを決めて討論(その時のテーマ:)
- カ テーマを決めて研究発表(その時のテーマ:)
- キ シナリオを作成し、上演(劇の名称:)
- ク その他()
- ケ 覚えていない・忘れた

3で「ア ある」と答えた方に質問します。

6 授業を受けた感想について、あてはまる記号に○を付けてください。(複数回答可)

- ア なぜ薬物乱用はいけないかを理解した。
- イ 誘われたときに断れる自信がついた。
- ウ 授業を受けたときはわかったが、内容を忘れてしまった。
- エ 自分には役に立たないと思った。自分には関係ないと思った。
(その理由:)
- オ その他()

3で「ア ある」と答えた方に質問します。

7 授業で学んだことについて、家に帰ってから家族と話題にしたことがありますか。

- ア ある
- イ ない

8から13は全員に質問します。

8 「薬物」「危険ドラッグ」についてあなたほどのようなイメージを持っていますか。
あてはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------|-----------------|--------|
| ア 犯罪 | イ 事故 | ウ 怖いもの |
| エ 危険 | オ 乱用 | カ 依存 |
| キ 流行 | ク 他の犯罪や事故を引き起こす | |
| ケ 他人に迷惑をかける | コ 自分には関係ない | |
| サ 個人の自由 | シ 遠い存在 | ス 暴力団 |

9 大人たちは、最近の青少年の薬物乱用を深刻な問題として受け止めています。あなたは自分や友人にとって薬物が身近な問題であると考えますか。

- ア そう思う
- イ そうは思わない

10 もし、あなたが友人に薬物のことで相談を受けたり、自分が誘われたりしたらどうするかそれぞれ記入してください。

ア 相談を受けたら

イ 誘われたら

11 薬物のことで知りたい内容について、あてはまる記号に○を付けてください。(複数回答可)

- ア 薬物が心身に与える影響について
- イ 乱用のメカニズム、自分で乱用を止めることが難しい理由について
- ウ 薬物乱用が社会に与える影響について
- エ 回復過程について(治療に必要な期間、後遺症など)
- オ 違法な薬物の使用で受ける社会的な罰について
- カ 薬物を乱用するきっかけについて
- キ 最近の乱用者数の変化、乱用薬物の傾向について
- ク その他(具体的に: _____)

12 薬物乱用防止を唱える「ダメ。ゼッタイ。」という合い言葉を知っていますか。

- ア 知っている
- イ 知らない

13 薬物乱用防止高校生会議に参加してみようと思った理由、してみたいこと、学習したいテーマなどを記入してください。

—ありがとうございました。—

平成29年度薬物乱用防止高校生会議 事後アンケート

学校名 _____ 高等学校 _____ 年 _____ 氏名 _____
(氏名はアンケート結果集計のために用いますので、公表することはありません。)

薬物乱用に関して、以下の質問にお答えください。

1 薬物乱用とは、医療目的でない薬物又は医薬品を不正な目的で使用することをいいます。最近、乱用が問題になっている薬物について、知っているものを全て、○を付けてください。

また、()内の用語のうち、知っているものにも○を付けてください。

(複数回答可)

- ア 覚醒剤 (エス、スピード、アイス、冷たいの、クリスタル、シャブ、ヒロポン、メタンフェタミン、アンフェタミン)
- イ 大麻 (ハッパ、ハシッシュ、マリファナ、グラス、チョコ、クサ、ガンジャ)
- ウ あへん
- エ モルヒネ
- オ ヘロイン (チャイナホワイト、ジャンク)
- カ コカイン (コーク、スノウ、ホワイト、クラック、ロック)
- キ MDMA (エクスタシー、XTC、バツ、^{ぼつ}X、罰)
- ク LSD (エル、アシッド、フェニックス、ドラゴン、ペーパー)
- ケ マジックマッシュルーム
- コ シンナー (アンパン、ジュントロ)
- サ トルエン
- シ キシレン
- ス 危険ドラッグ (脱法ドラッグ、合法ドラッグ、脱法ハーブ、合法ハーブ、指定薬物)
- セ デザイナーズドラッグ
- ソ 向精神薬 (ハルシオン、リタリン、眠剤)
- タ ステロイド (筋肉増強剤、ドーピング)
- チ ガス (ガスパン遊び)
- ツ その他 ()
- テ 知っているものはない・わからない

2 覚醒剤についてどのようなことを知っていますか。テレビや新聞、雑誌などで知った知識で構いません。この中で知っていることがあれば該当する記号に○を付けてください。(複数回答可)

- ア 無色の結晶又は白色の粉末である。
- イ 注射するほかにもいろいろな使用方法がある。
- ウ 使用すると、一時的に気分がスッキリし、疲労がとれたような感じになる。
- エ 効果が切れると倦怠感や疲労感におそわれる。
- オ 一度使うと繰り返し使うようになる。
- カ 長期間使用すると、幻覚や妄想がひどくなり、錯乱状態になる場合がよくある。
- キ 長期間使用をやめていても、何らかのストレスで幻覚や妄想におそわれることがある。
- ク その他 ()
- ケ 知っているものはない・わからない

3 大人たちは、最近の青少年の薬物乱用を深刻な問題として受け止めています。あなたは自分や友人にとって薬物が身近な問題であると考えますか。

- ア そう思う
- イ そうは思わない

4 もし、あなたが友人に薬物のことで相談を受けたり、自分が誘われたりしたらどうするかそれぞれ記入してください。

ア 相談を受けたら

イ 誘われたら

5 「薬物」「危険ドラッグ」について、あなたはどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------|-----------------|--------|
| ア 犯罪 | イ 事故 | ウ 怖いもの |
| エ 危険 | オ 乱用 | カ 依存 |
| キ 流行 | ク 他の犯罪や事故を引き起こす | |
| ケ 他人に迷惑をかける | コ 自分には関係ない | |
| サ 個人の自由 | シ 遠い存在 | ス 暴力団 |

6 次の事柄は自分にとって薬物乱用防止に効果があると思いますか。(回答例 ⊕)
 その他、どんな事柄が効果があると思いますか。

	ある	少しある	どちらとも いえない	あまりない	ない
高校生会議に参加する	-----	-----	-----	-----	-----
授業で教わる	-----	-----	-----	-----	-----
回復者の話を聞く	-----	-----	-----	-----	-----
薬物乱用防止ポスター・ 標語等を作成する	-----	-----	-----	-----	-----
リーフレット・読本を読む	-----	-----	-----	-----	-----
啓発イベントを実施する	-----	-----	-----	-----	-----
啓発イベントに出席する	-----	-----	-----	-----	-----
他の高校生の薬物乱用 防止活動を知る	-----	-----	-----	-----	-----
取締りを厳しくする	-----	-----	-----	-----	-----
罰則を厳しくする	-----	-----	-----	-----	-----

その他、薬物乱用防止につながるアイデアがあれば、教えてください。

—ありがとうございました。—

平成29年度薬物乱用防止高校生会議報告書

平成30年3月発行

登録番号 (29) 364

編集・発行 東京都福祉保健局健康安全部薬務課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4505(ダイヤルイン)

印刷 正和商事株式会社
〒161-0032 東京都新宿区中落合1-6-8
電話 03-3952-2154